

妻つまの冬ふゆ籠ごもり

貸し出された肉体カラダ

R-18
成人向け

ナナシノベル

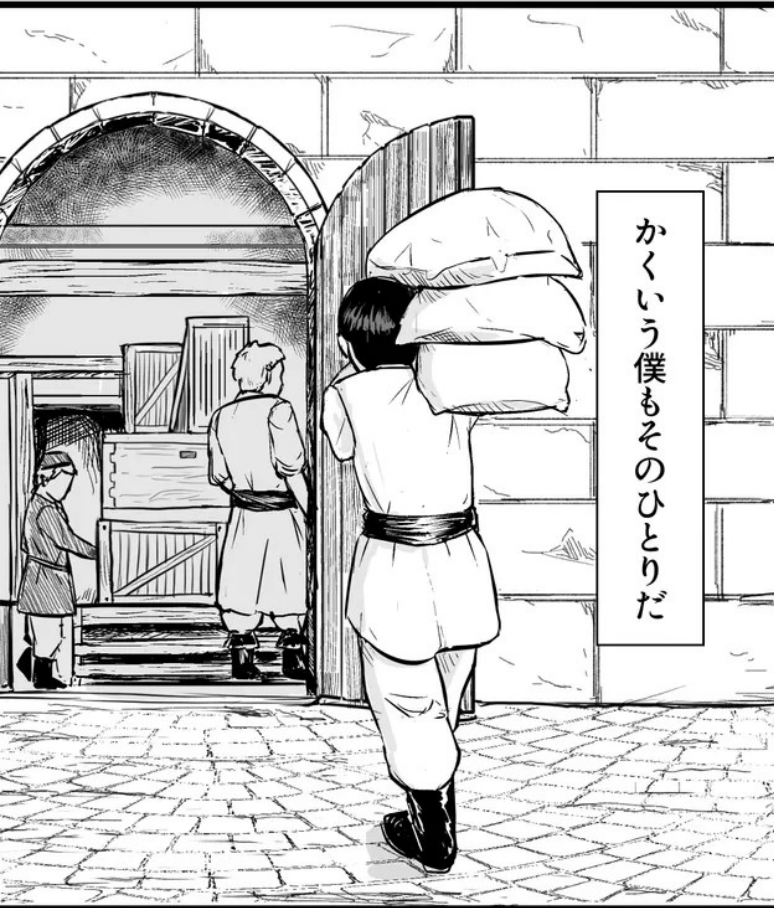
タブ暦 278年

港町キコニア

物流の中継地となる
この港町は毎年春から
多くの商品が取引される



かくいう僕もそのひとりだ



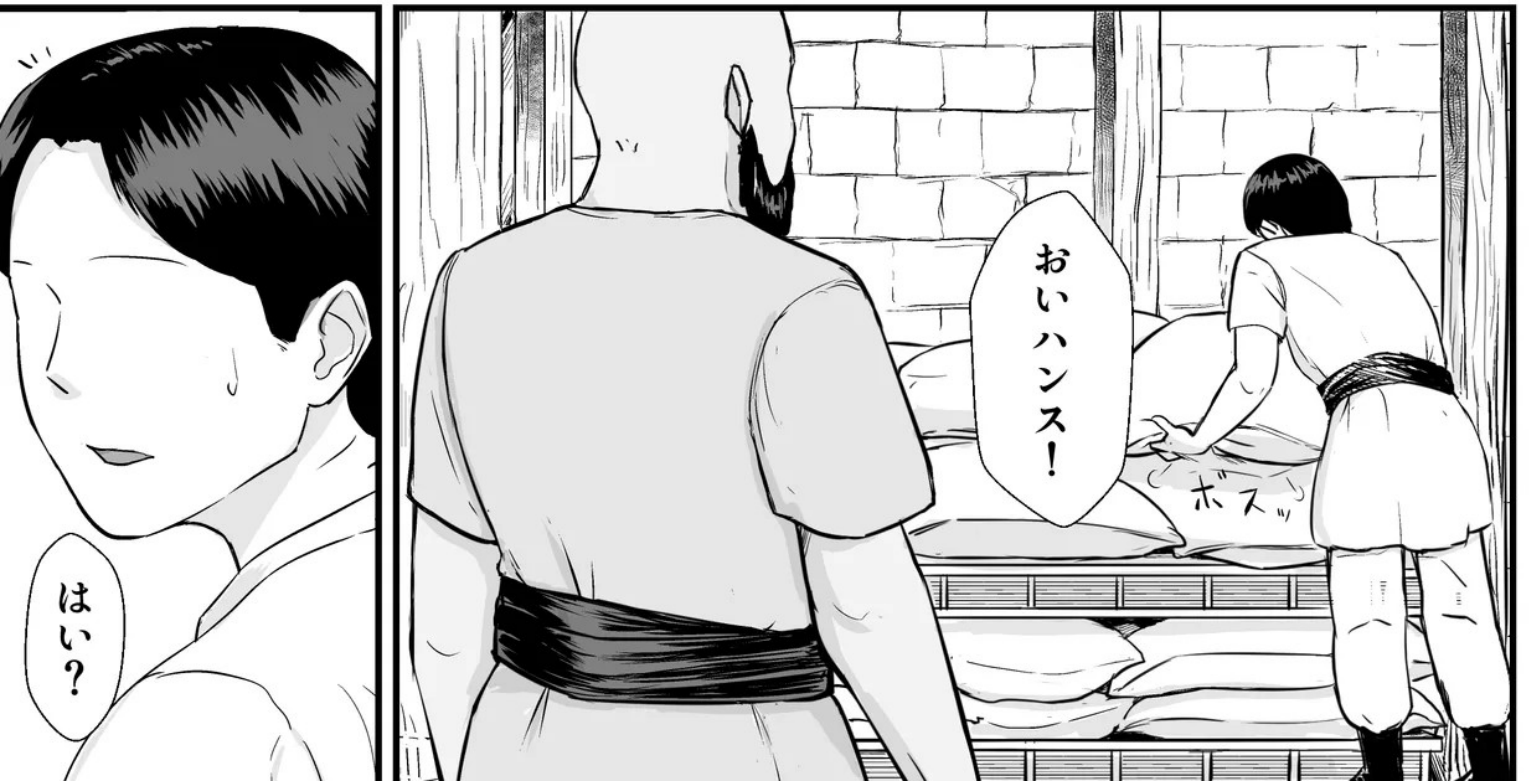
自然 働き口を求めた若者が
近隣の村々から出稼ぎにきていた



おいハンス!

ホスッ

はい?

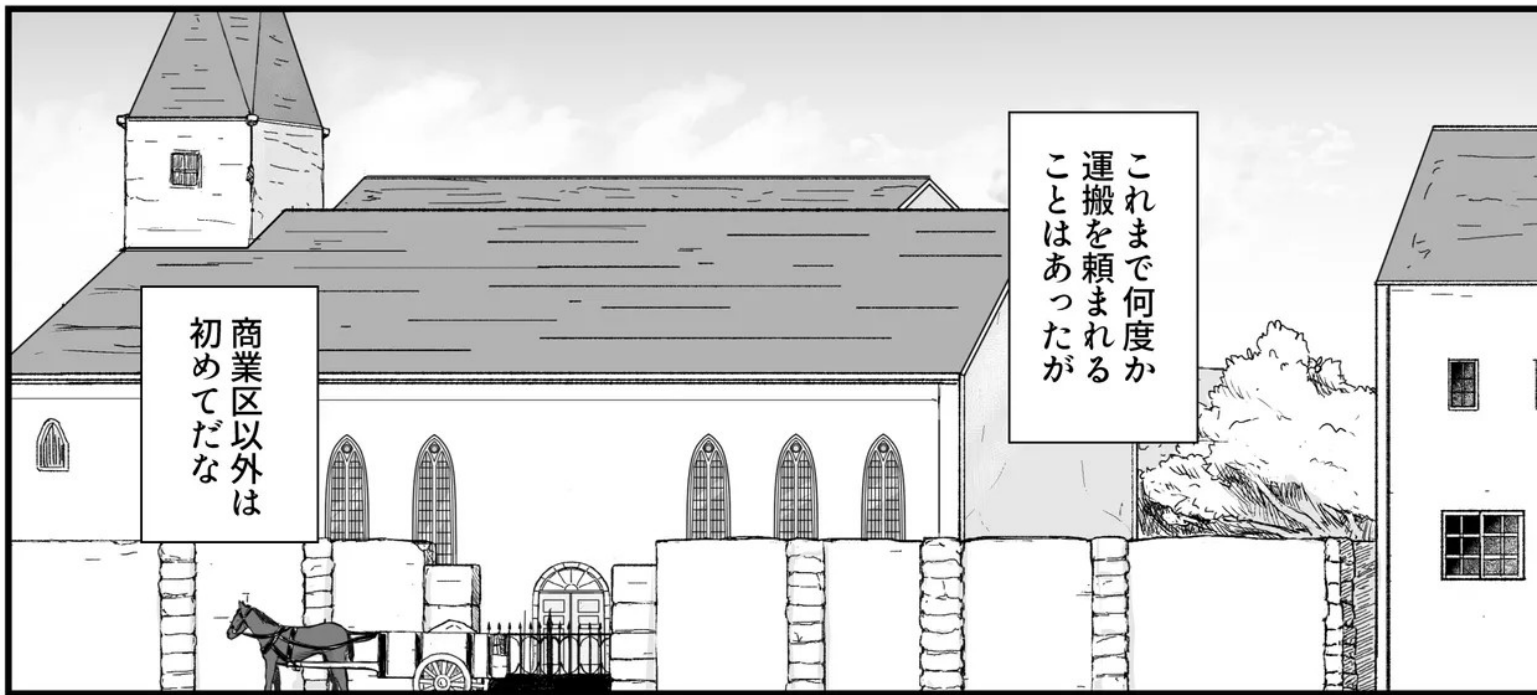




あと院長に
よろしく
言っといてくれ

あの馬車の積荷を
東市街の孤児院に
届けてこい

はい
わかりました



商業区以外は
初めてだな

これまで何度か
運搬を頼まれる
ことはあったが



ギョッ



すいませーん
お届け物です



でっ

お待たせいたしました

何かご用でしょうか

でっ

でかいっ

……色々と



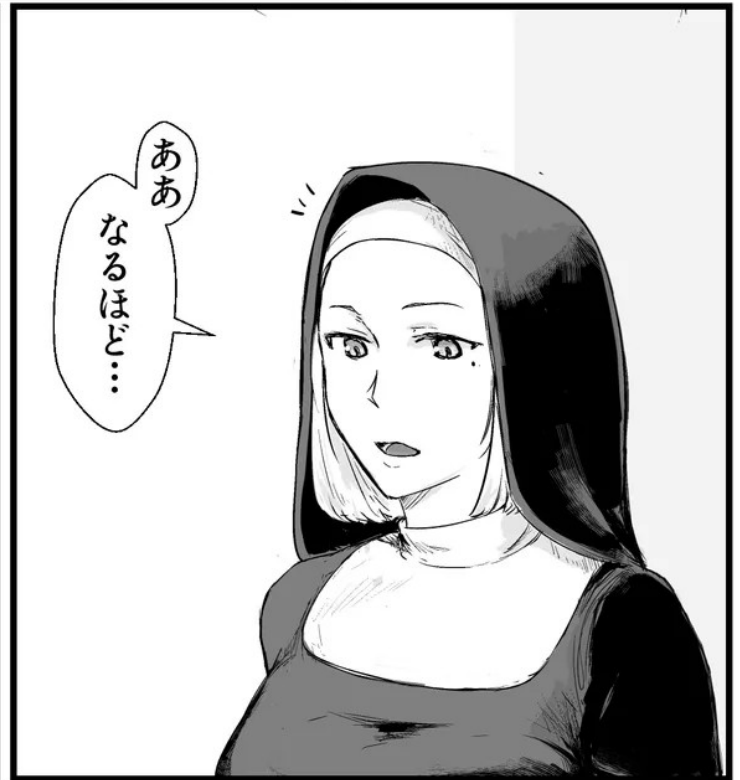
あっはいその…
港の荷役親方から
お届け物です

表の荷車に大量に
積んであります



ありがとうございます。

スッ



ああ
なるほど…



私もお手伝いさせて
いただきます

いいえ



私と一緒に荷物を
中の貯蔵庫へ運んで
いただけますか？

あいや、自分が
全部運びますよ



私はこの孤児院の手伝いしている
ヘレナと申します

僕はハンスです

…院長はどちらに？

院長は今はおりません

子供たちと一緒に
教会の集会へ
参加されています

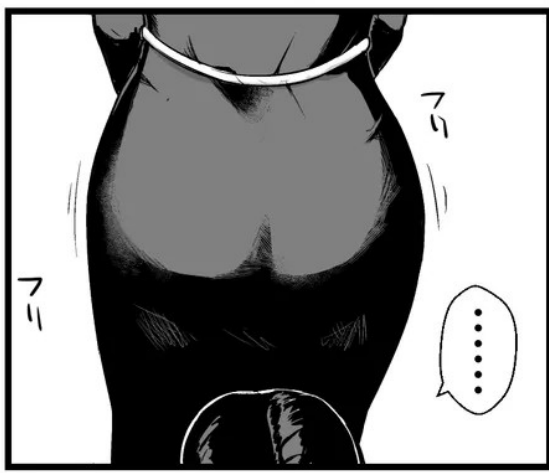
そ、そうですか



手伝ってくれている
彼女に失礼だろ



何考えてるんだ



……



この袋は
ここに…



この箱は
どこですか

これで最後ですね

…はい
その棚に



無心だ

無心になるのだ

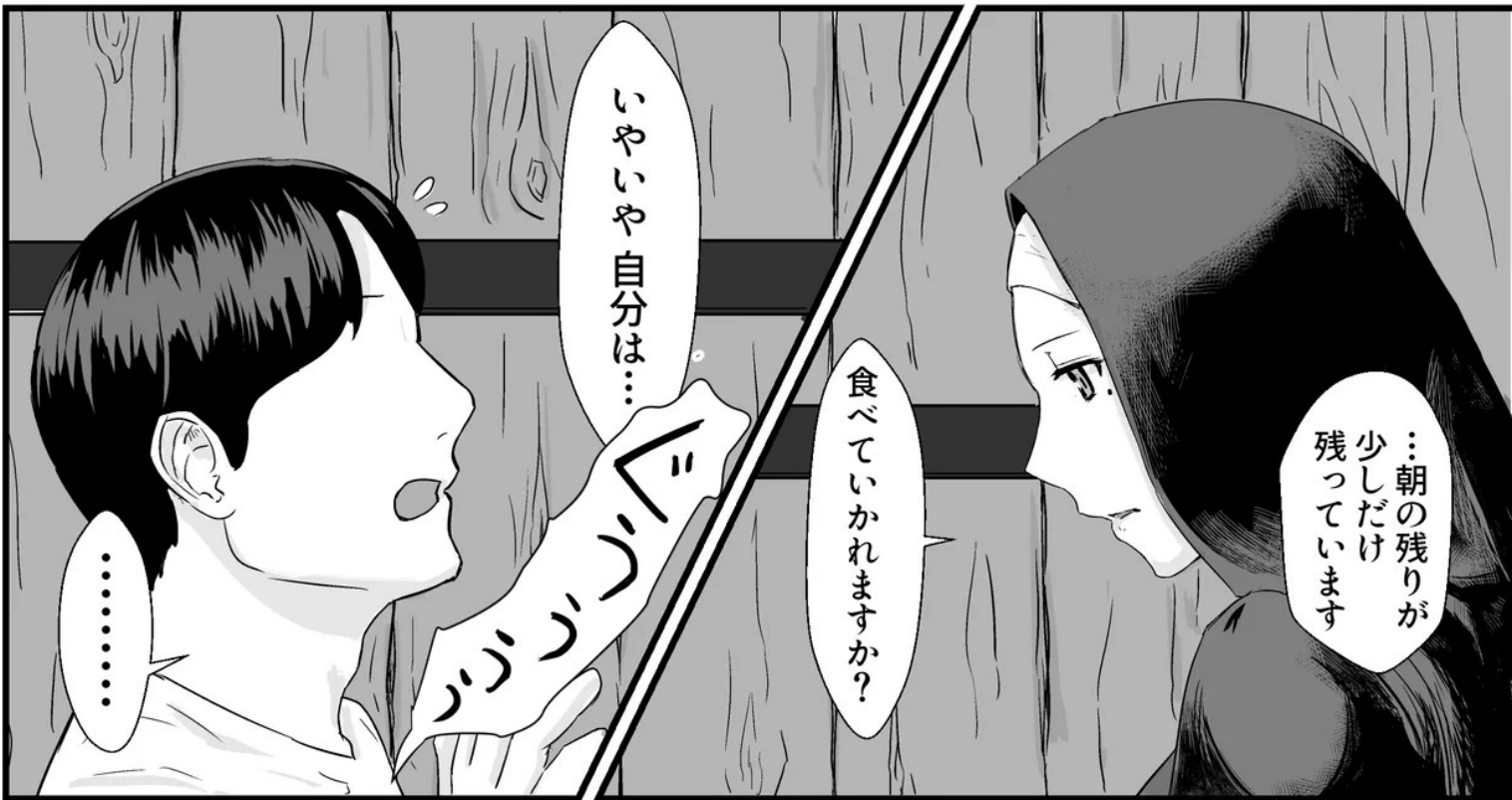


お疲れ様です



はいお疲れ様です
じゃあ僕はこれで

お疲れさまでした



いやいや自分は...

食べていけますか?

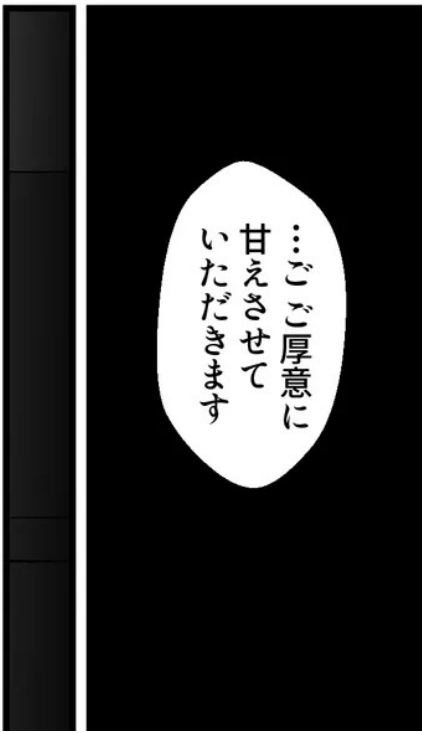
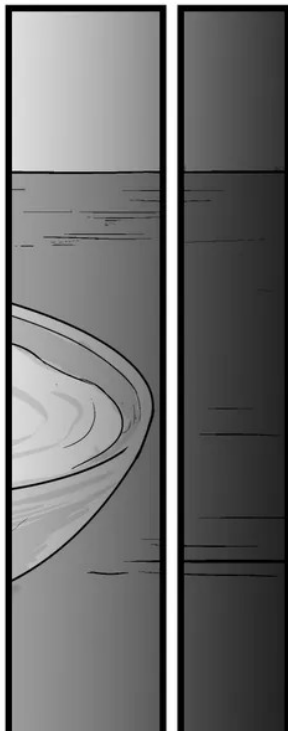
：朝の残りが
少しだけ
残っています

.....



どうぞ

コト



：ご厚意に
甘えさせて
いただきます



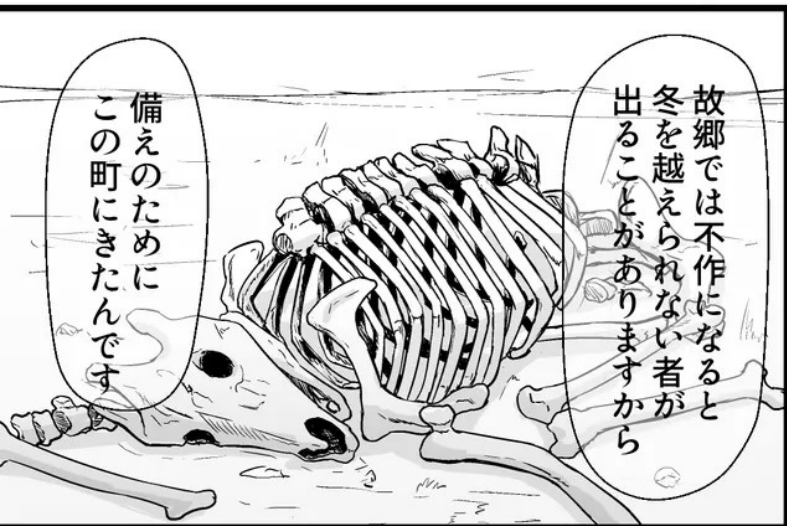
僕の故郷は貧しくて満足食事をとれませんから

十分ごちそうですよ



こんなものしかありませんが…

ありがたくいただきます



故郷では不作になると冬を越えられない者が出ることがありますから

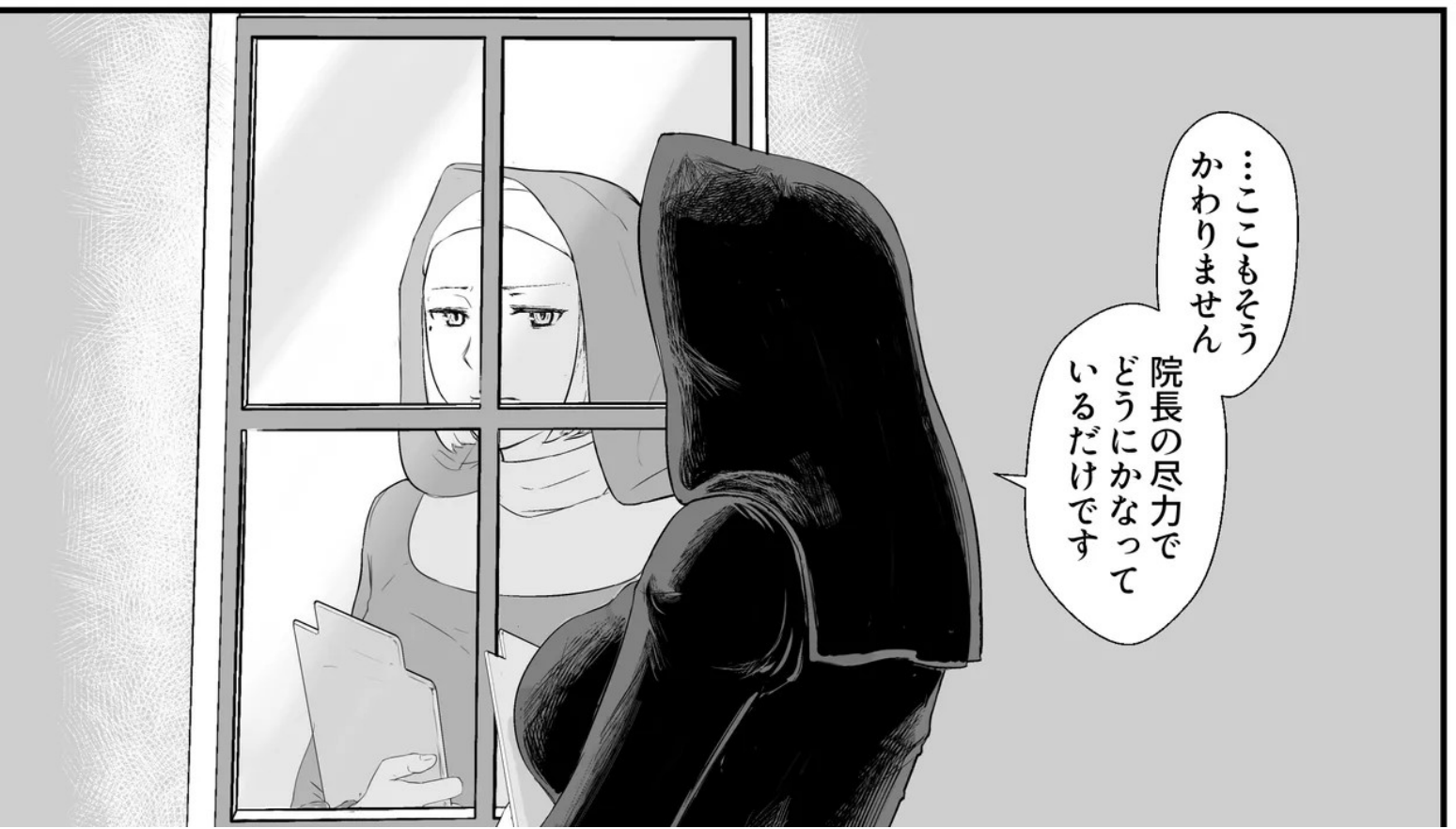
備えのためにこの町にきたんです



ではハンスさんもこの街には…

荷役人夫

ええ出稼ぎです



…ここもそうかわりません
院長の尽力で
どうにか
いるだけです



この時僕は不謹慎にも
苦悩する彼女の横顔を
美しいと感じた



この人の笑顔を
見てみたいと…



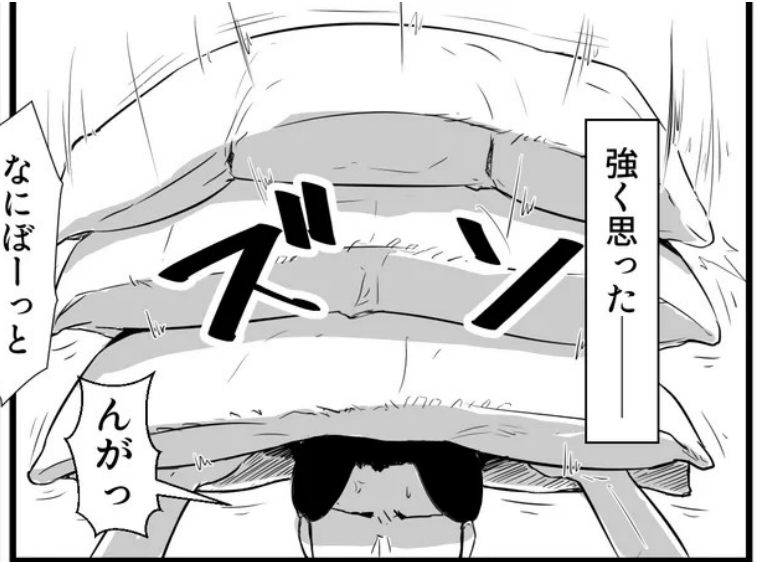
同時に



さつさとそいつを
3番倉庫にもってけ!

なにぼーっと
してんだ

お、重い…



強く思った

んがっ



なんの口実
もないしな



あれ以来彼女とは
会っていない



あれは…

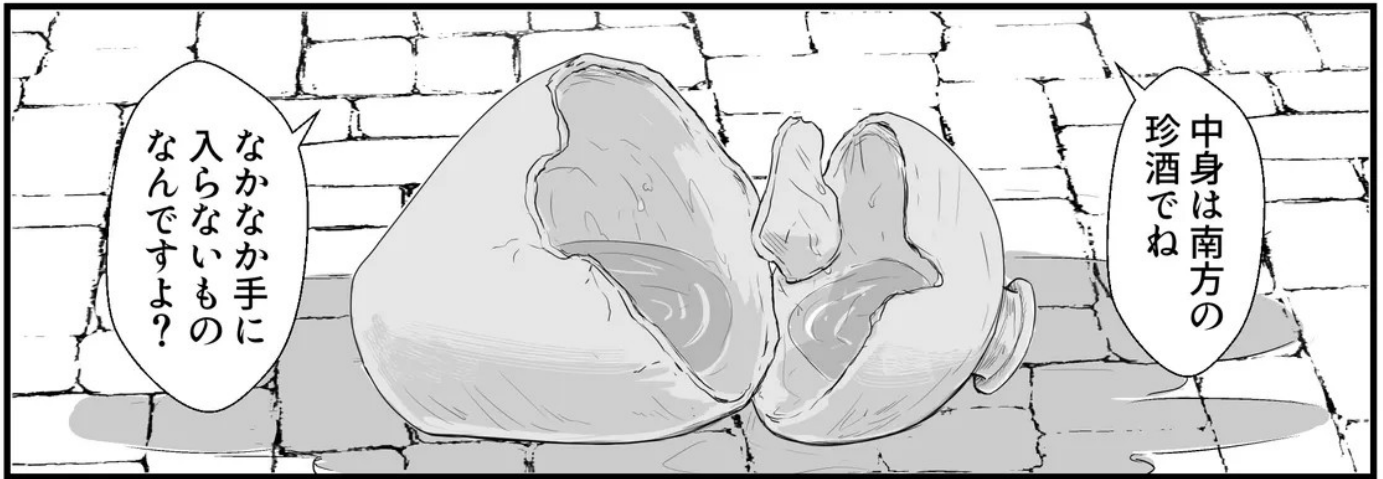


その子供せいで
せっかくの商品が
割れてしまった

プル

プル

困るんですよ



なかなか手に
入らないもの
なんですよ？

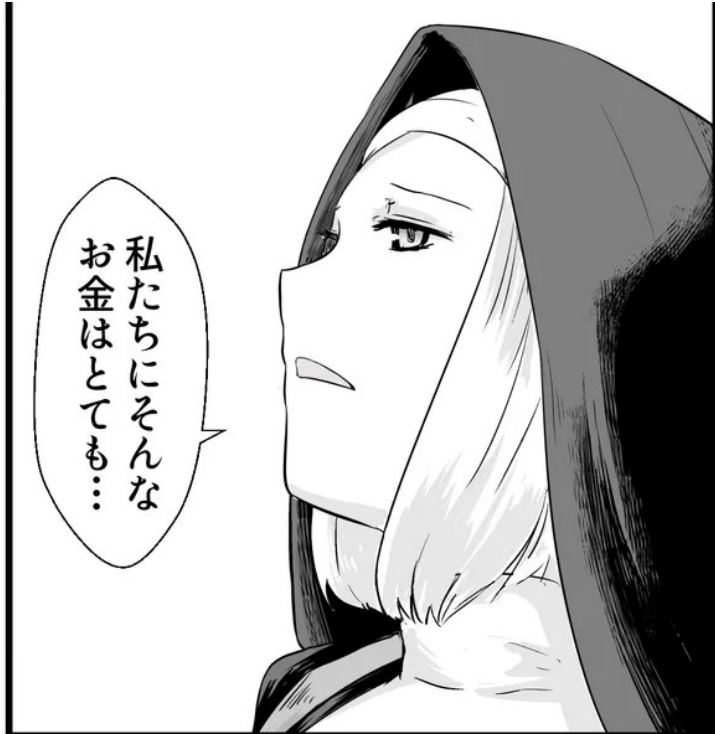
中身は南方の
珍酒だね

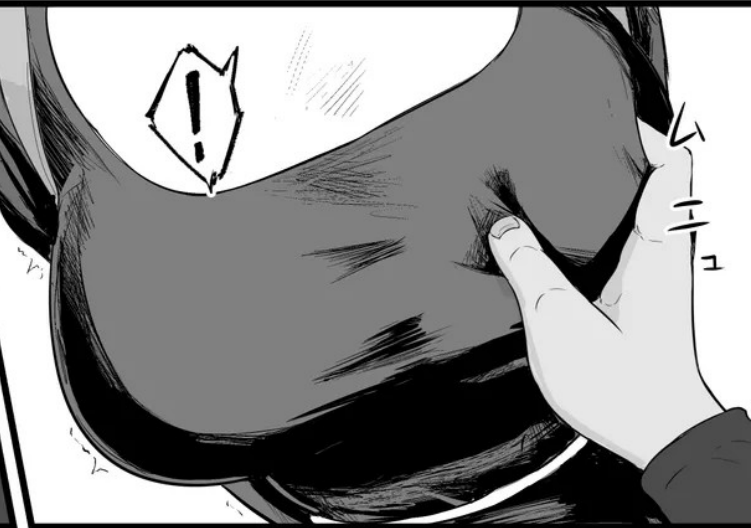
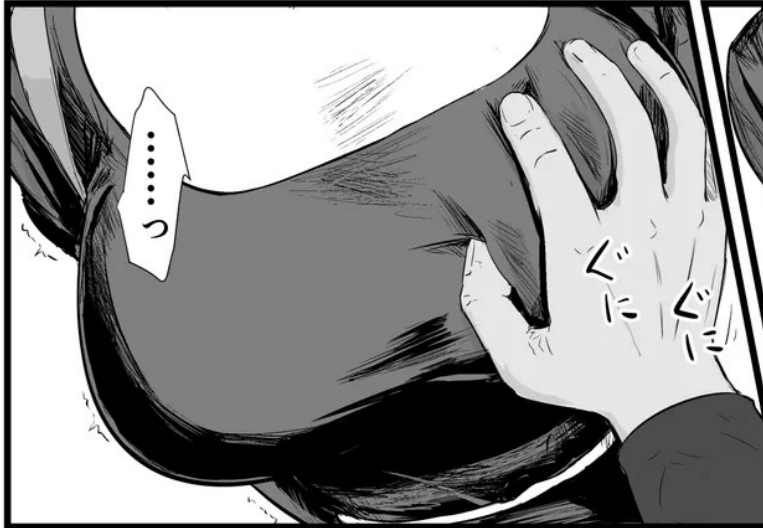


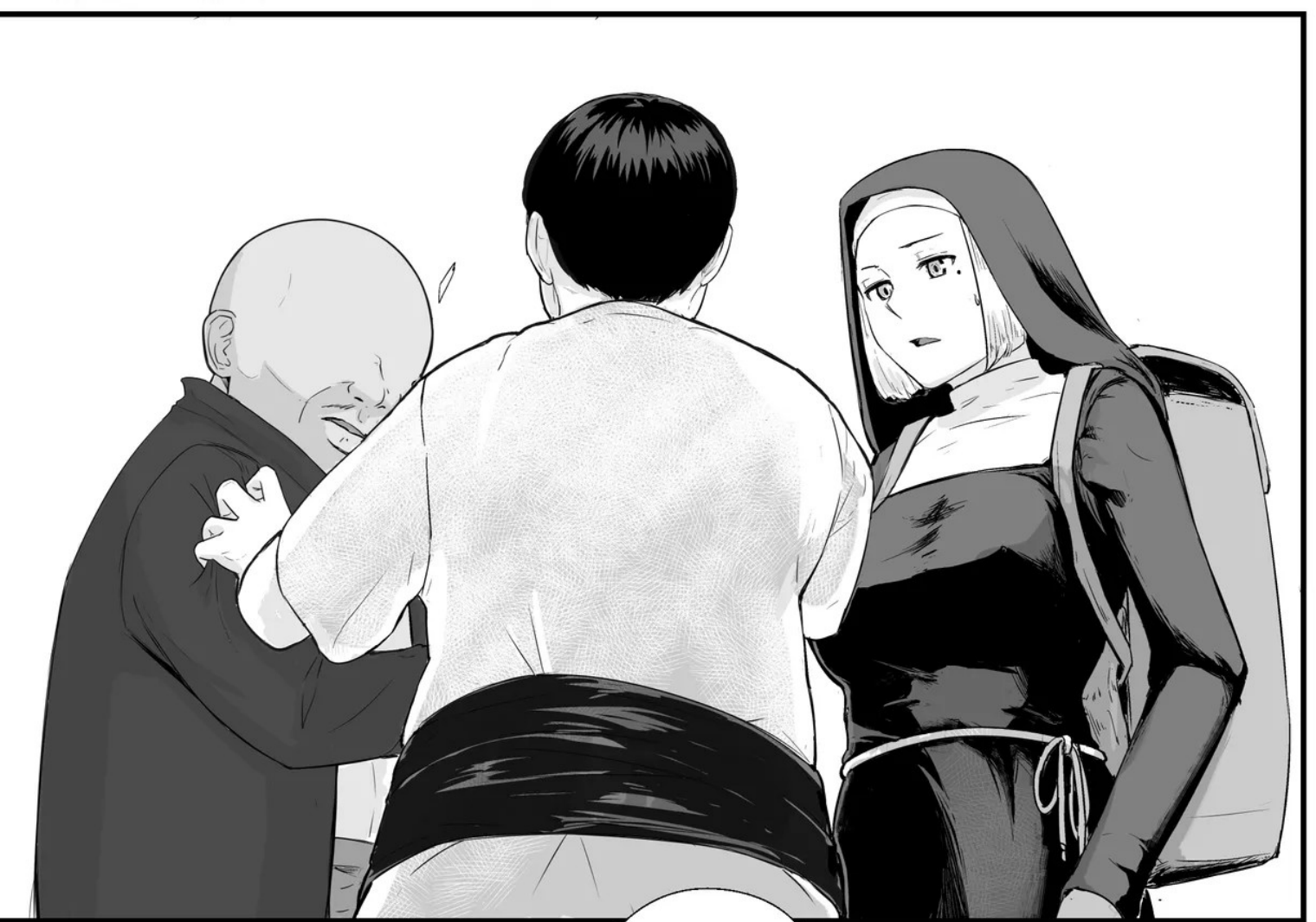
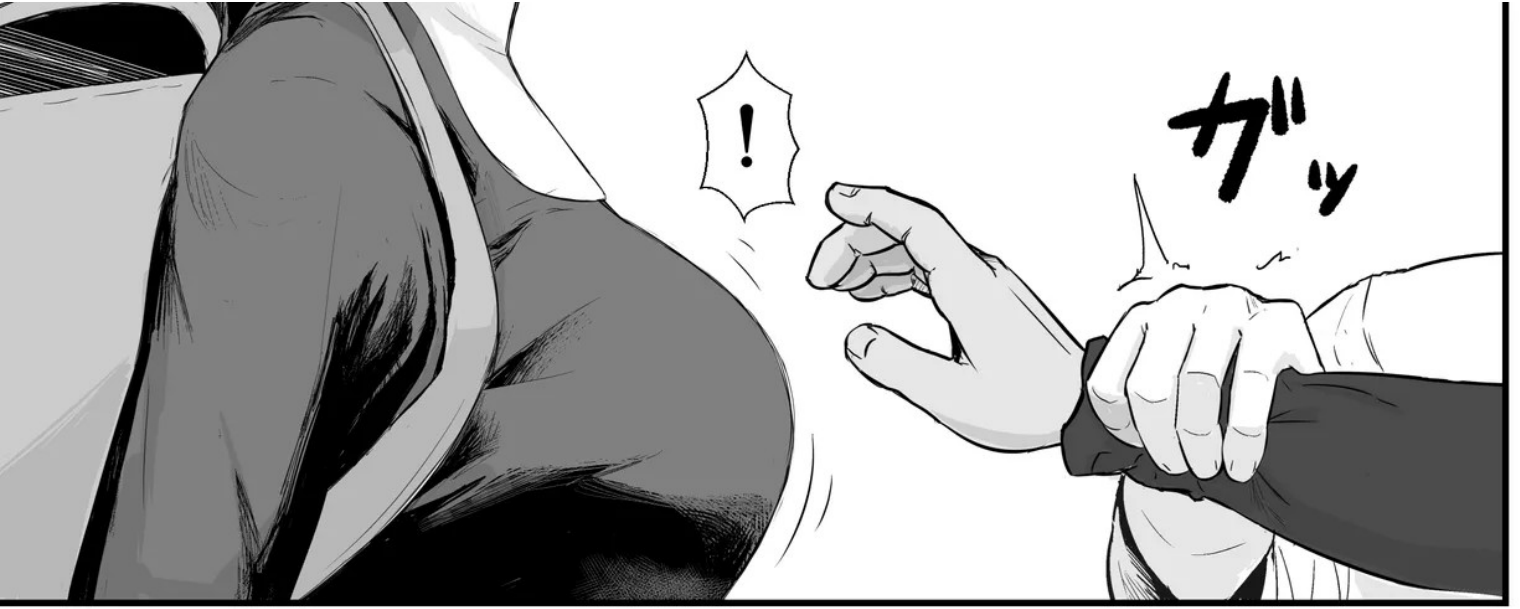
弁償して
もらいます



…申し訳ありません







な、なんだお前は

僕が代わりに
支払います



そ、それより
なんで港に?

…ですが
あのお金は



この前の食事の
お返しですよ



本当にありがとうございます



…どうもんなさ



ほら、コリー
お礼を言いなさい



受け取った帰りに
この子が先ほどの方と
ぶつかってしまって…

…漁師の方々が
獲れた魚を分けて
くださるんです



ポン



コリーは
えらいな!

まだ小さいのに
お姉さんの
手伝いになんて



えーっと……

いいえ、是非



……ぜひ何かお礼を
させてください

……いやそんな、
気にしなくてもいい



……



……あつもちろん
子供たちと
一緒にですよ



……じゃじゃああの
今度一緒に食事でも



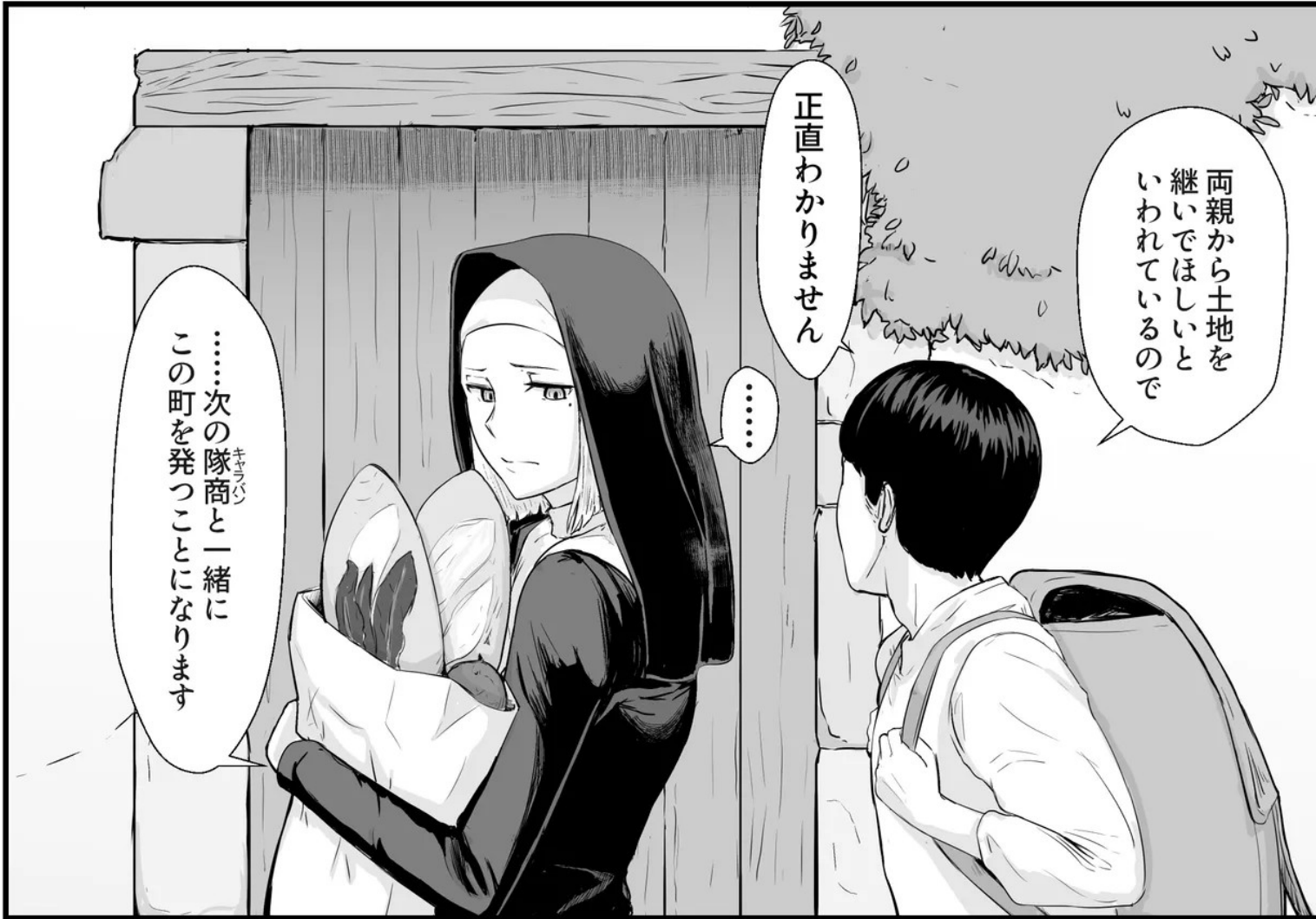
さっさと仕事に戻れっ

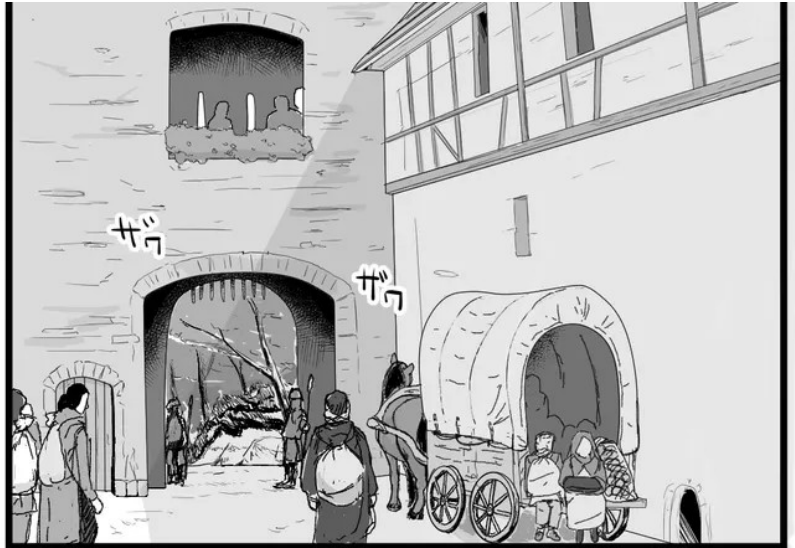
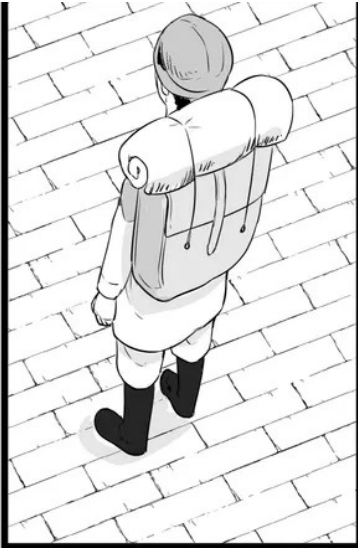
いや親方これは……

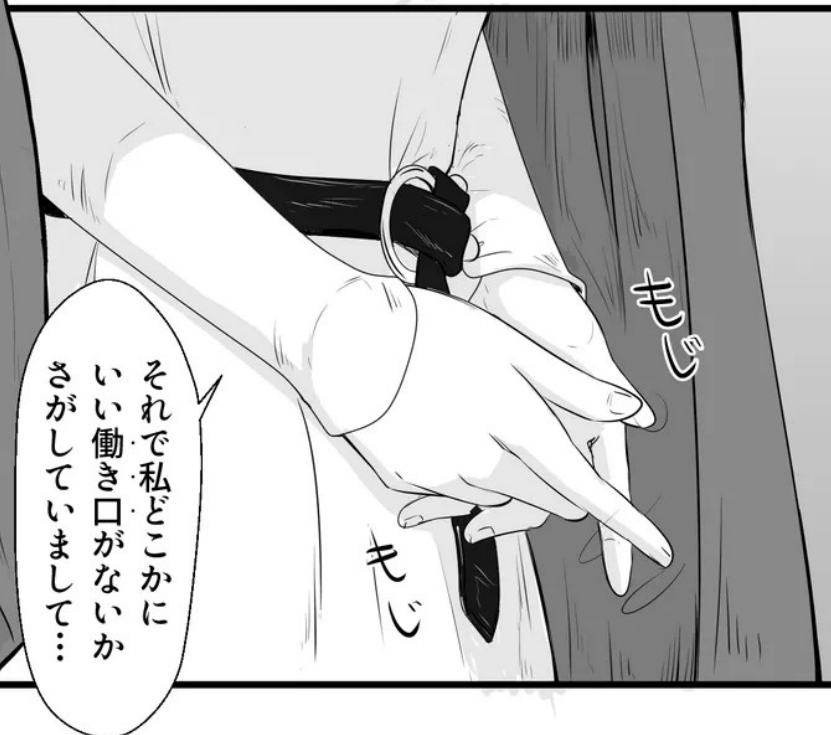
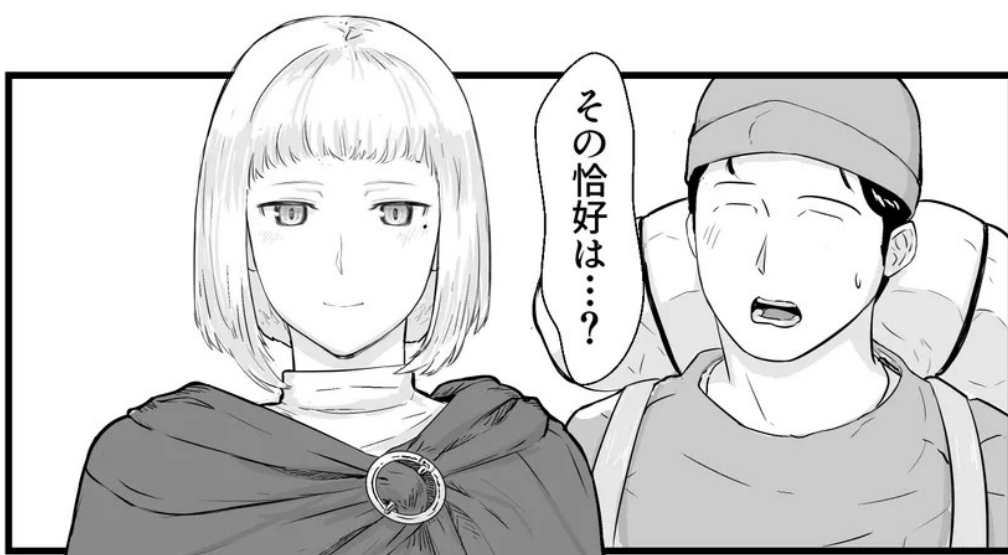
荷物ほっぽって
何女を口説いてやがる

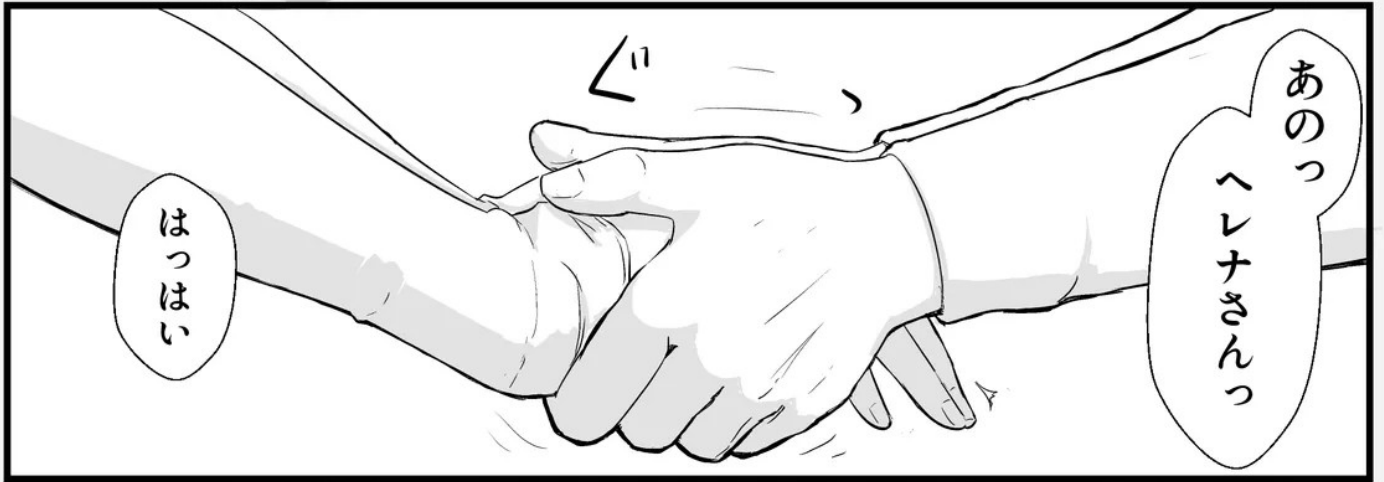












タブ
曆
281
年

レ
プ
ル
ス
王
国
カ
ウ
ダ
地
方
の
辺
境
に
厳
し
い
冬
が
訪
れ
て
い
た



少なくない数の命が
春を迎えることなく
消えることになった

不作の年でも
あったためか



しかし

ある豪農の計^{はか}らいで
ほとんど犠牲を出さずに
冬をこえた村があった

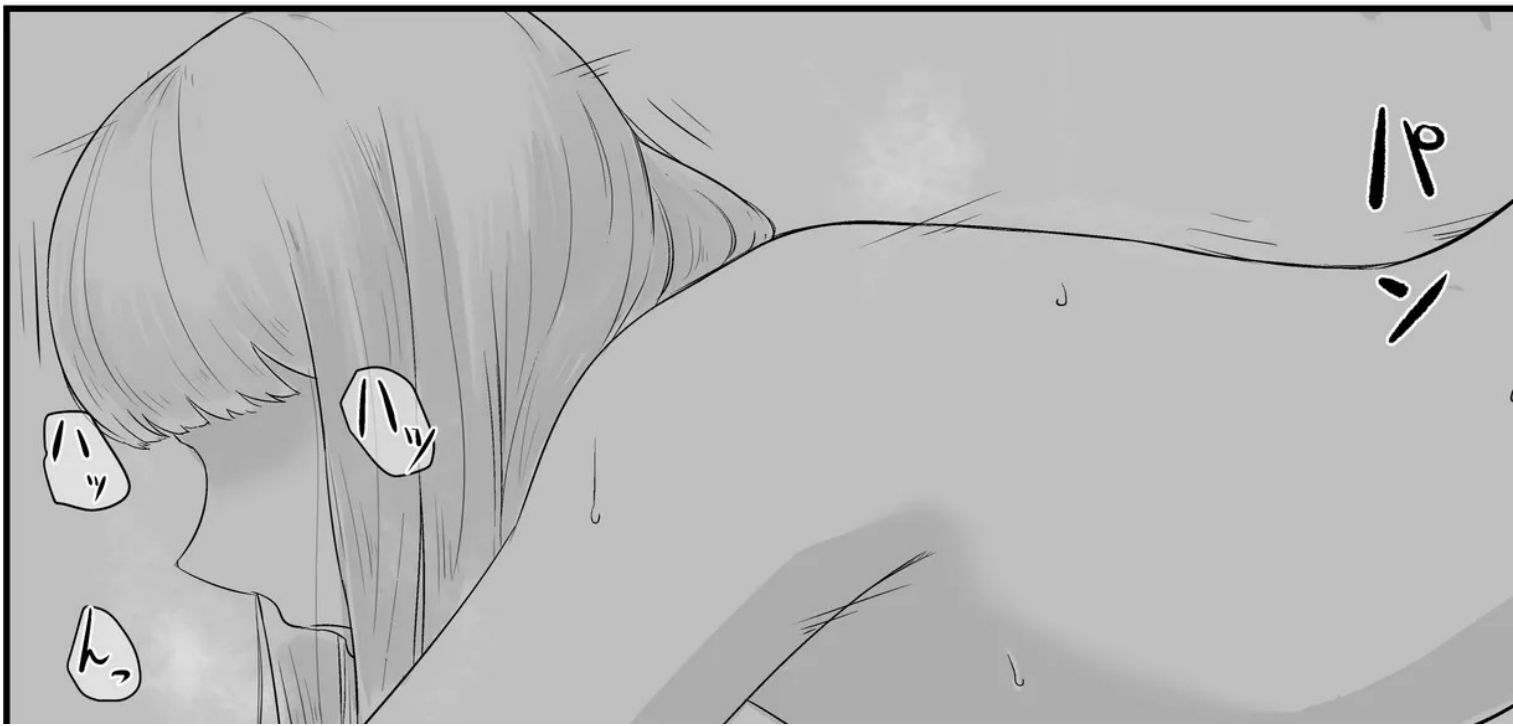
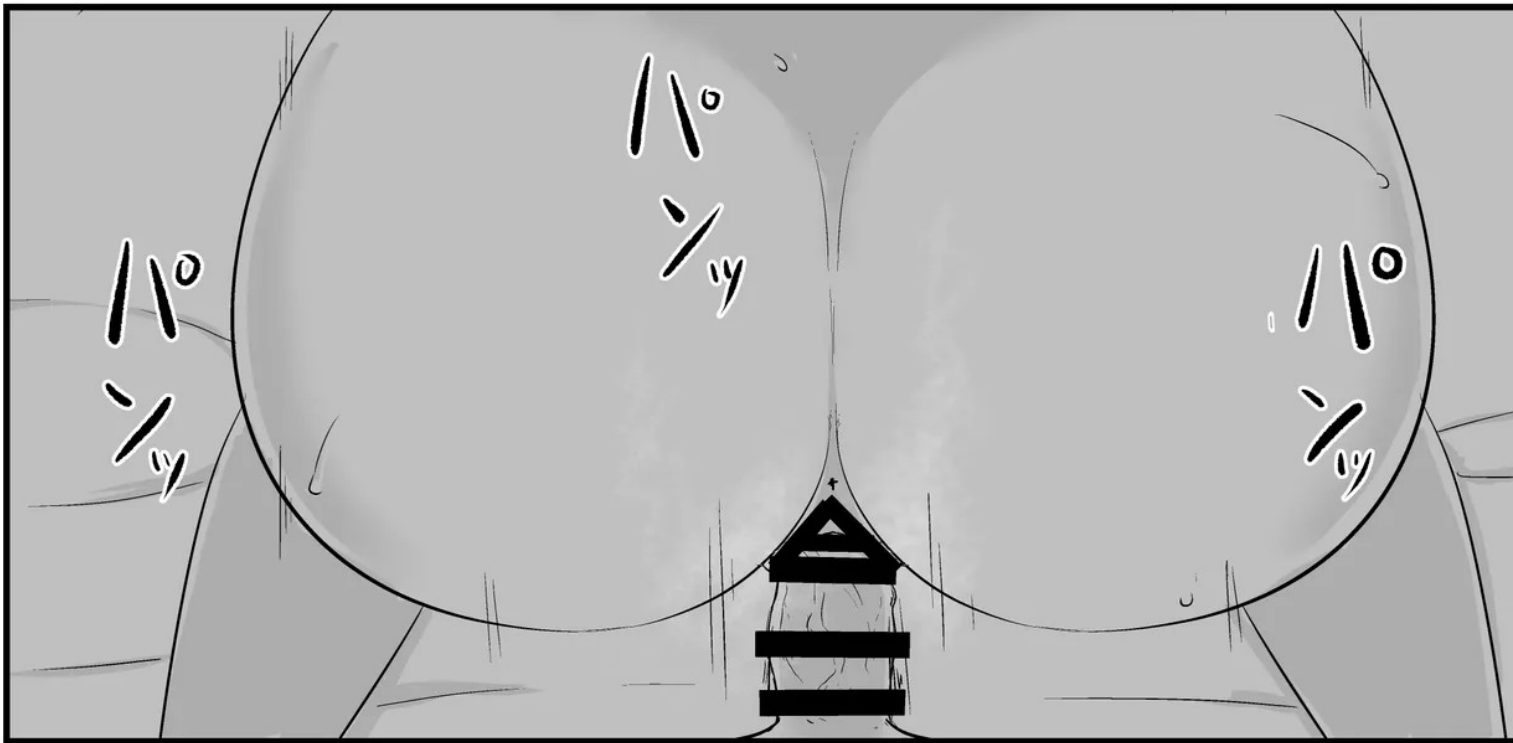
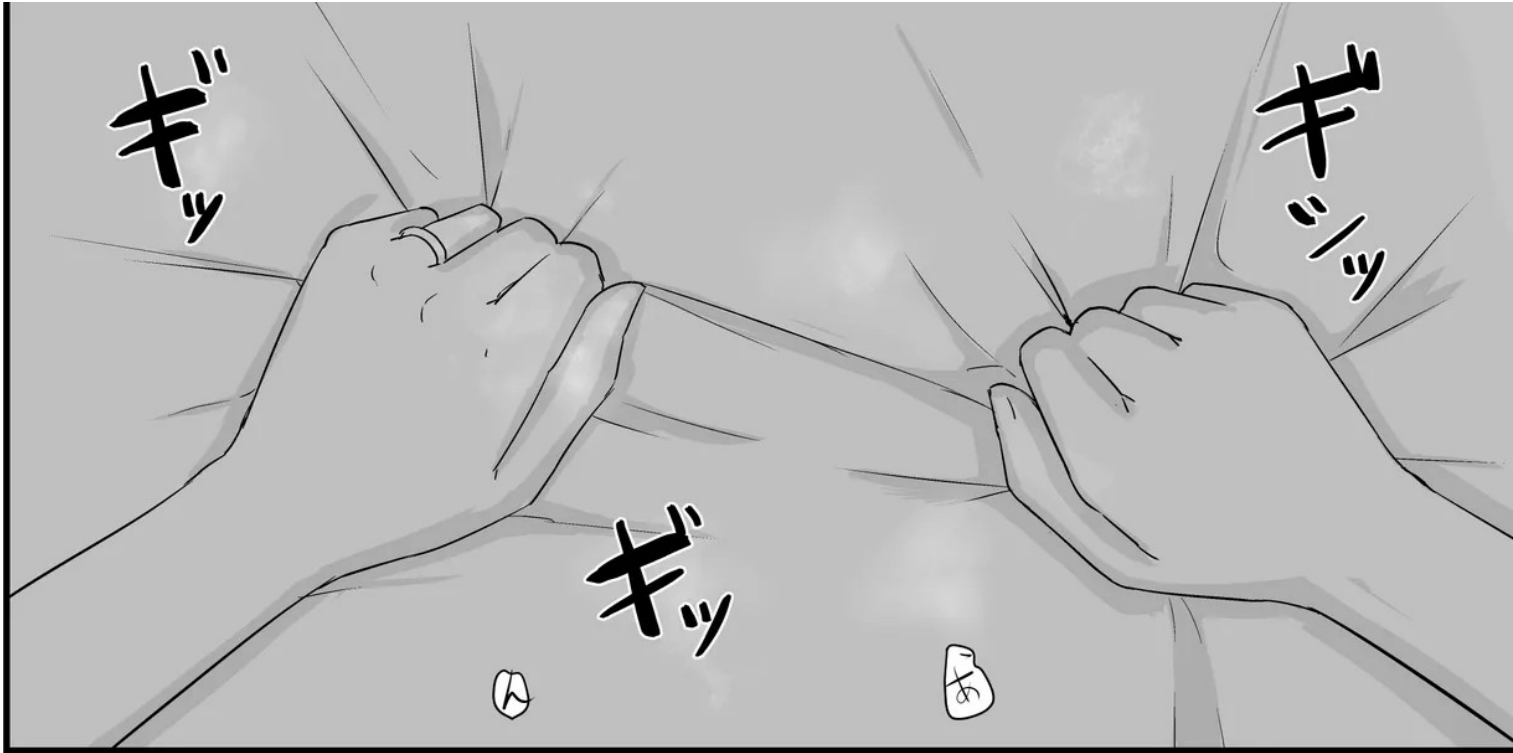


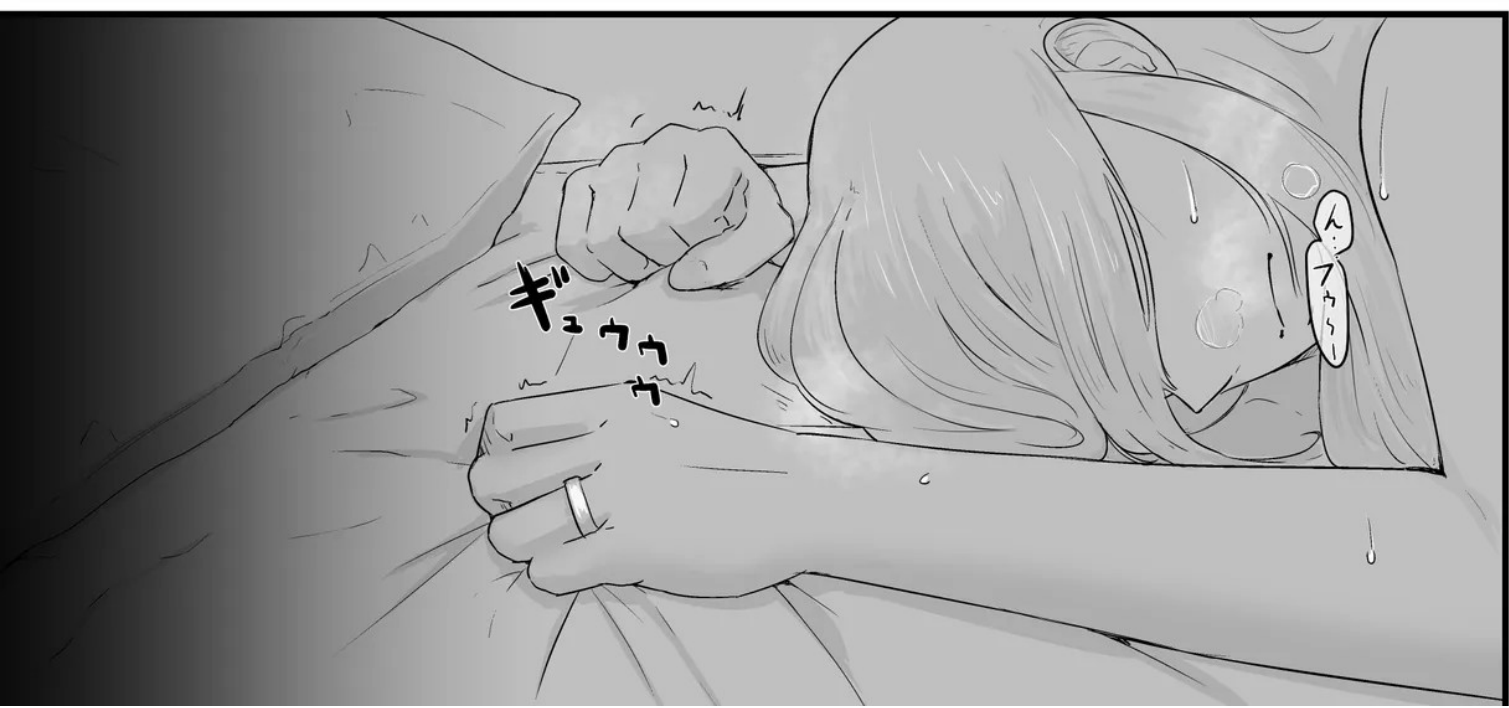
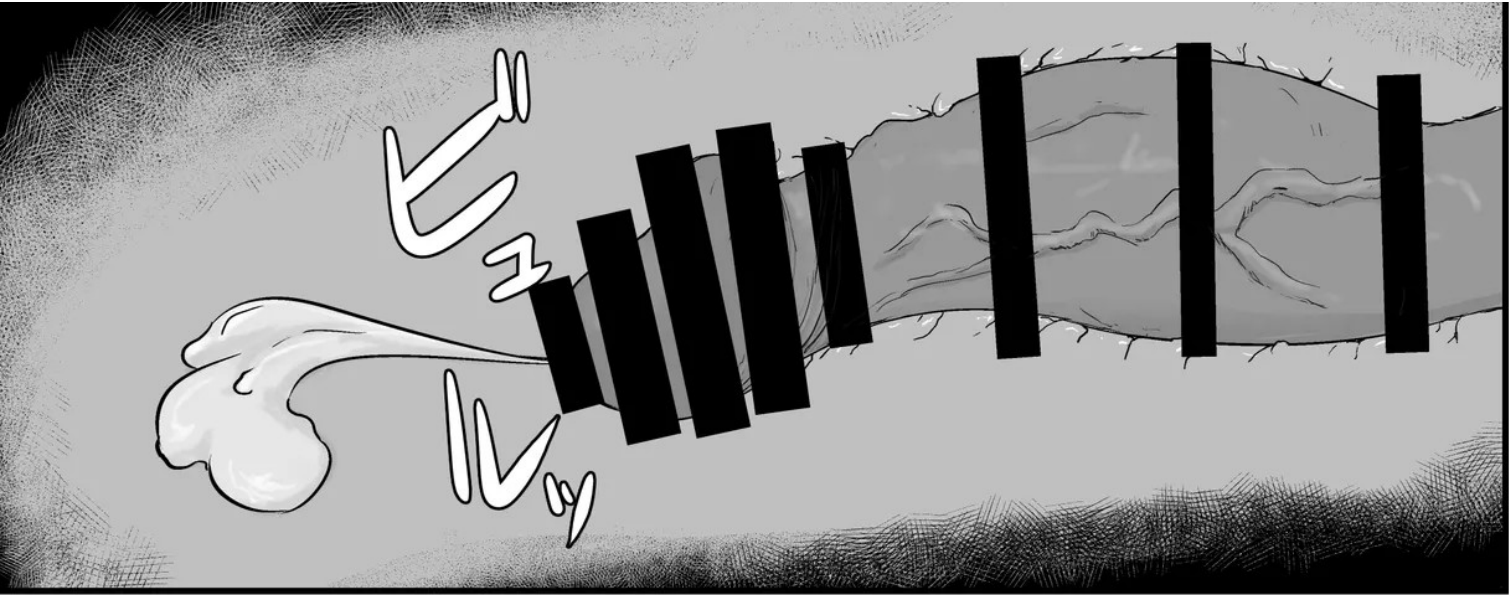
ギッ

ギ
ッ
ッ

ギ
ッ
ッ









カウダ地方
辺境のとある寒村



一か月前



そうですか…



やはりあの老人に
頼むしかないようですね

ヘレナ
でもそれは…



駄目だ…

みんなと相談したが
やっぱり食料が
足りなくなるそうだ



食料がなければ
多くの村人が冬を
越えられません

…ハンスさん

あなたには
つらい思いを
させますが



仕方がありません



……

くそっ

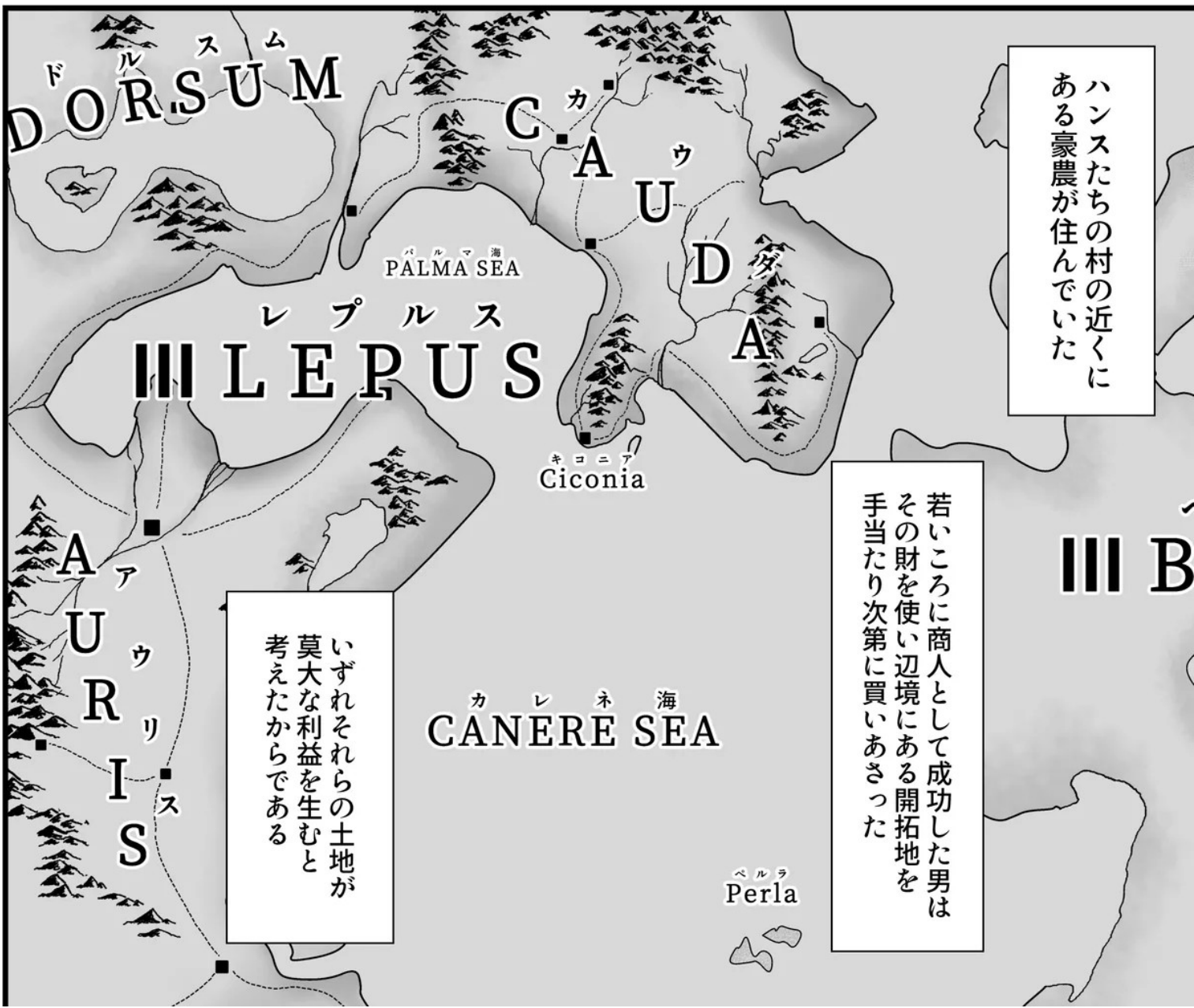


いいえ
貴方のせいでは
ありませんよ



僕がふがないばかりに

すまないへレナ



ハンスたちの村の近くに
ある豪農が住んでいた

若いころに商人として成功した男は
その財を使い辺境にある開拓地を
手当たり次第に買いあさった

いずれそれらの土地が
莫大な利益を生むと
考えたからである

III B



男が手に入れた土地の
鉦山からは金が取れ
広大な農地の産物は人々の
胃を満たし



男は何人も妻をめとり
その子供たちは官界と民間の
有力者として根を張った



男の名はラジャル



半世紀のち
カウダ地方で
逆らえるものは
いなくなっていた



やはりヘレナさんは
背の高い娘じゃの〜

よくきなすった

今や矮躯の老人となった男は
ハンスたちにある取引を
提案したのだった



この離れで過ごすのは
わしらだけじゃ

ほかの家人たちは
本館のほうに移動させた



春までよろしくたのむぞ
ヘレナさん

食材や道具は館のあるものを
好きに使ってくれてよい

掃除洗濯炊飯が主じゃが
わしの仕事も手伝ってもらおう



老人の領地から
村に食料を提供する

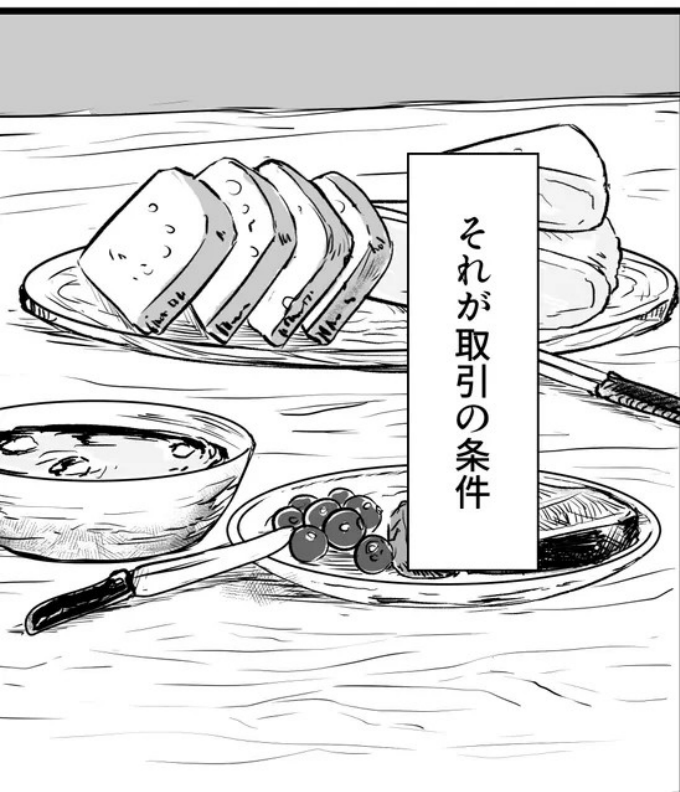
見見たことのない
食材が多い……

何かしら これ……

それと引き換えに……

私が冬の間老人の
身の回りの世話をする

後々のことを考えれば
老人の機嫌を損ねる
ことはできない



それが取引の条件

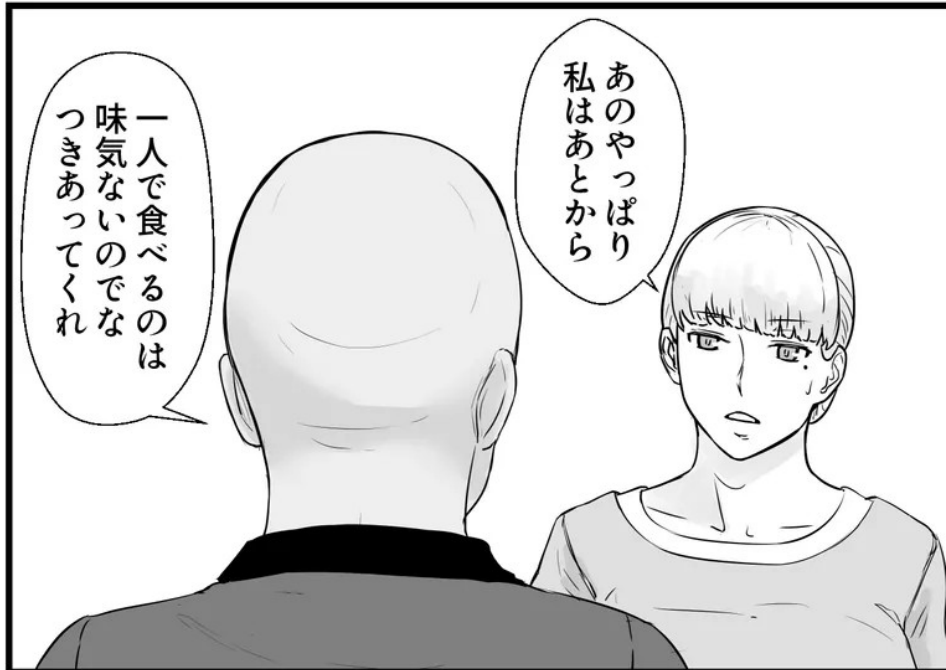
事実上の絶対服従



普通 主人と召使の
食事は別のはずだけど



…どういふつもりなのか



一人で食べるのは
味気ないのでな
つきあってくれ

あのやっぱり
私はあとから



…きた



…ご一緒いたします



夜は一段と冷え込むからの
添い寝してもらえるかね

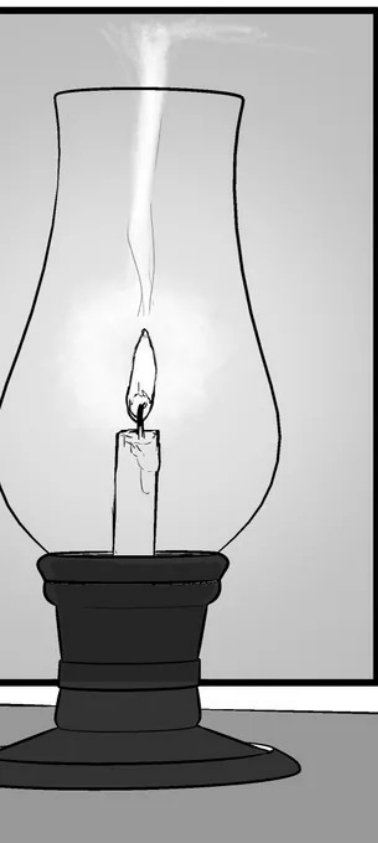
ポク



結局ただ
眠るだけ…



すぐに手を出してくると
思ったけれど…



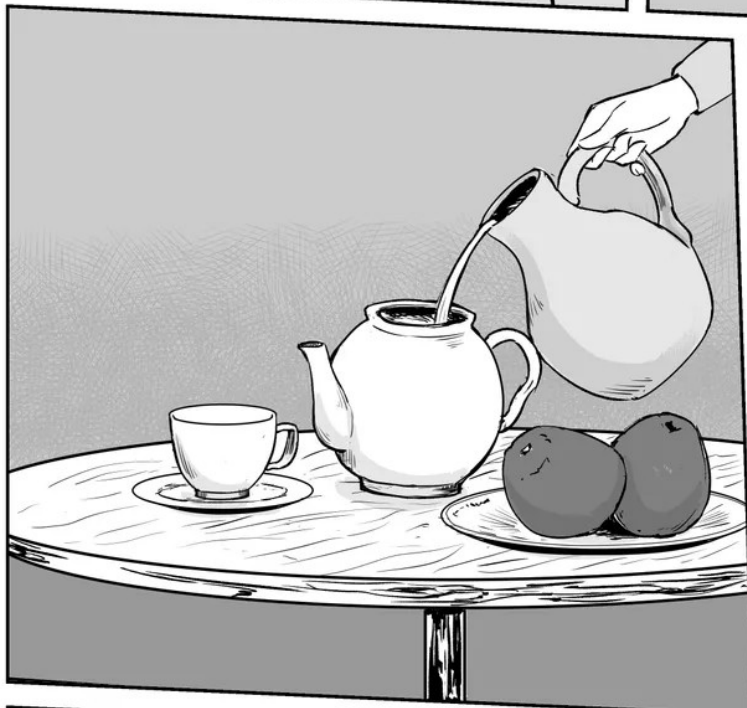
何かしらこの匂い？

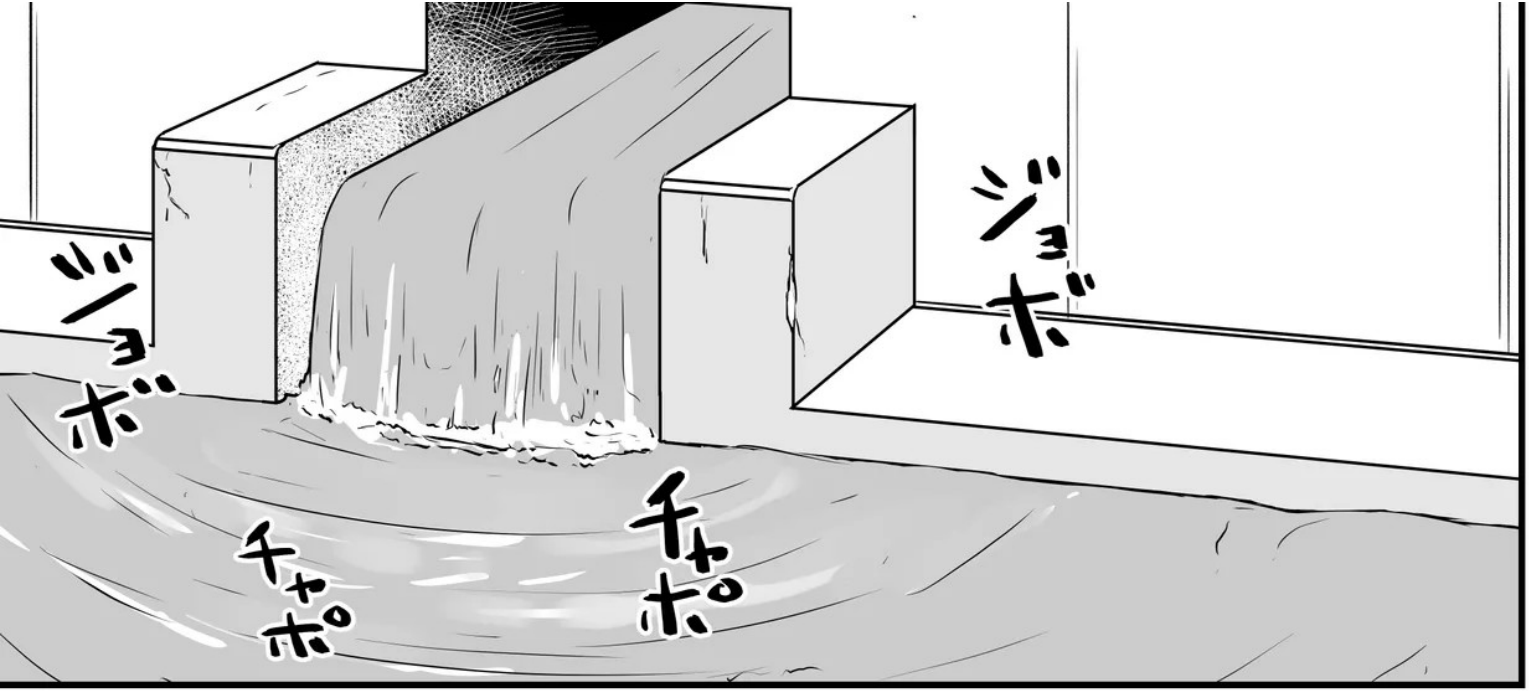


私には都合がいいけれど
どういうつもりなのか

……？

当初の予想に反しその後も
侍女として雑務をこなす日々が
何事もなく過ぎていった





暖かい水

温泉というらしいけど
この離れにまで
引き込んでるとは

なににより…
いまだに行為に
及んでいない

この生活は…
正直充実している

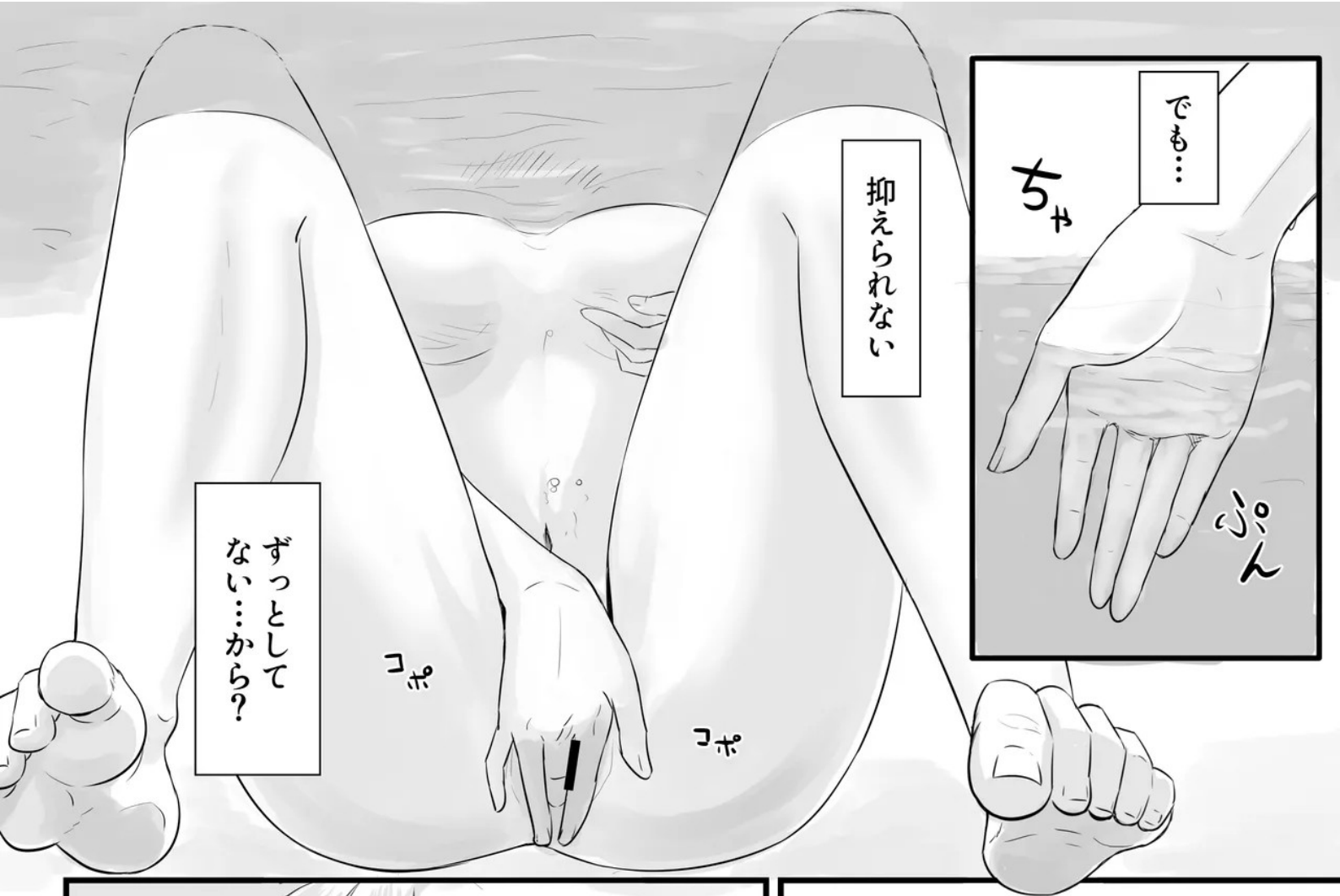
毎日十分な食事がとれるし
家事もたいたことはない

手の空いた時間は
蔵書を読むことも
許可された

あの男はかなりの高齢…
もうできなくなっている
可能性もありますが

それでは
取引の意図がない





抑えられない

でも...

ちや

ゴポ

ずっとして
ない...から?

ゴポ

ゴポ



...ハンスさんは
今頃どうしているかしら

取引が終われば
ハンスさんと...

は

ゴポ

ん



は

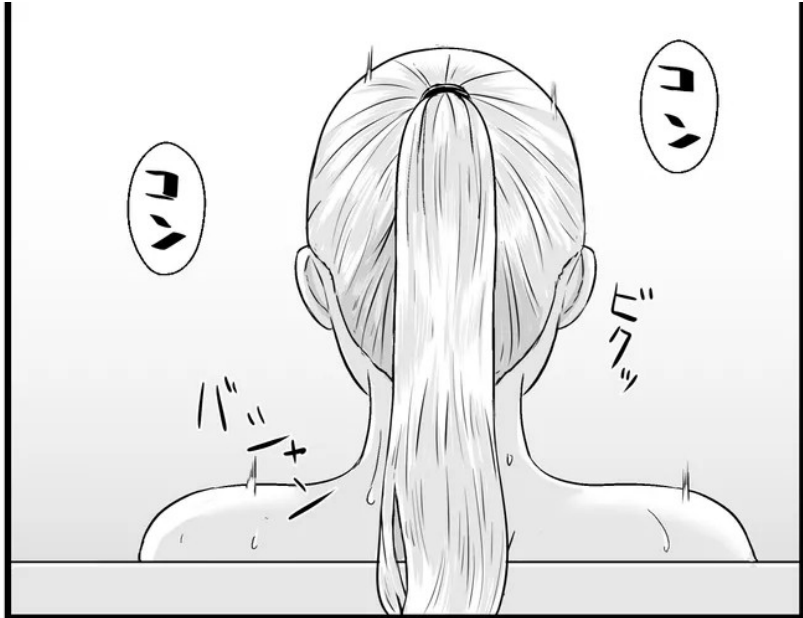
ん

10=4

4+70



ヘレナさん
そこにおりますか？

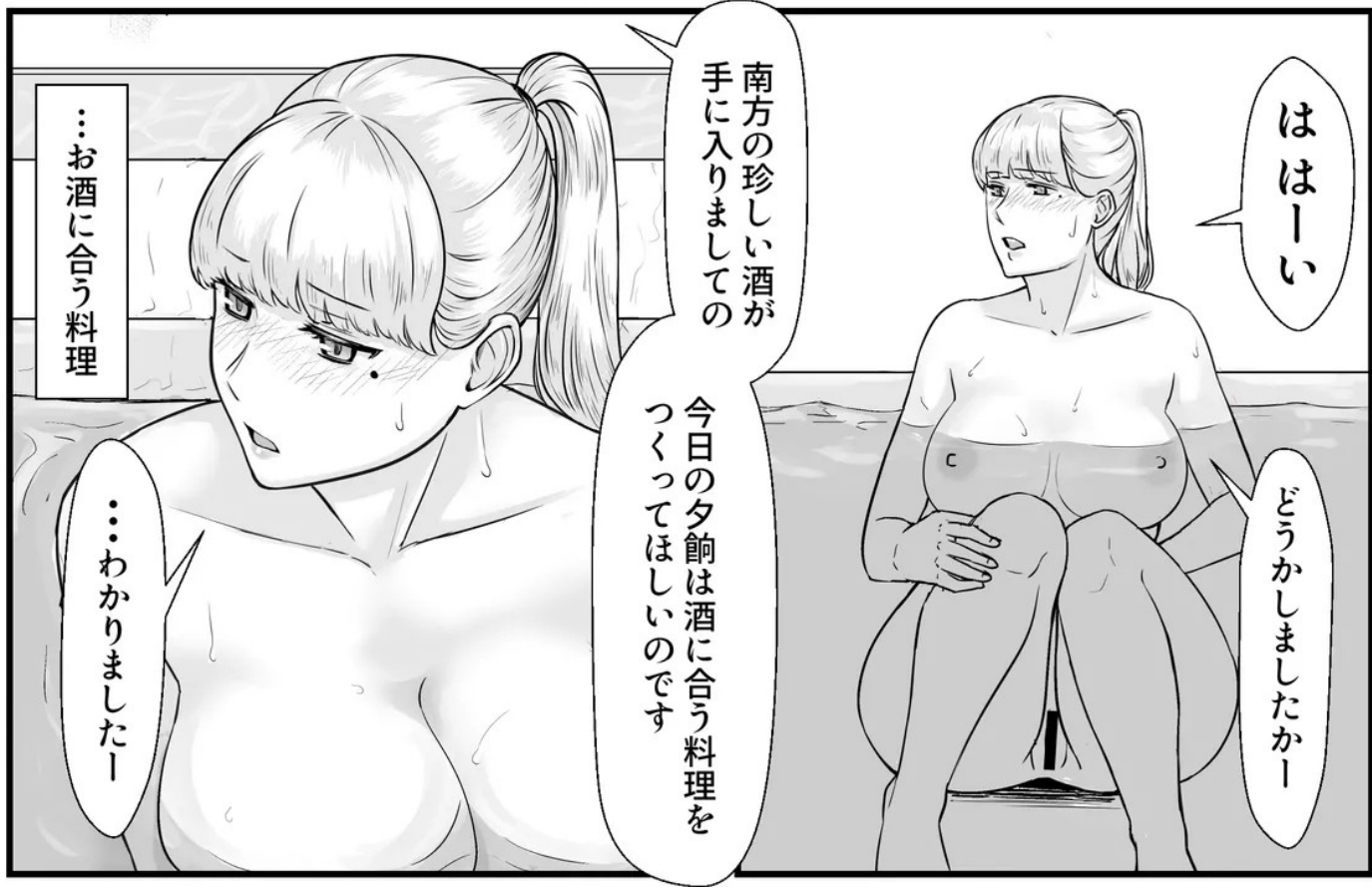


コン

コン

ゴクッ

バニ
ニ



ははい

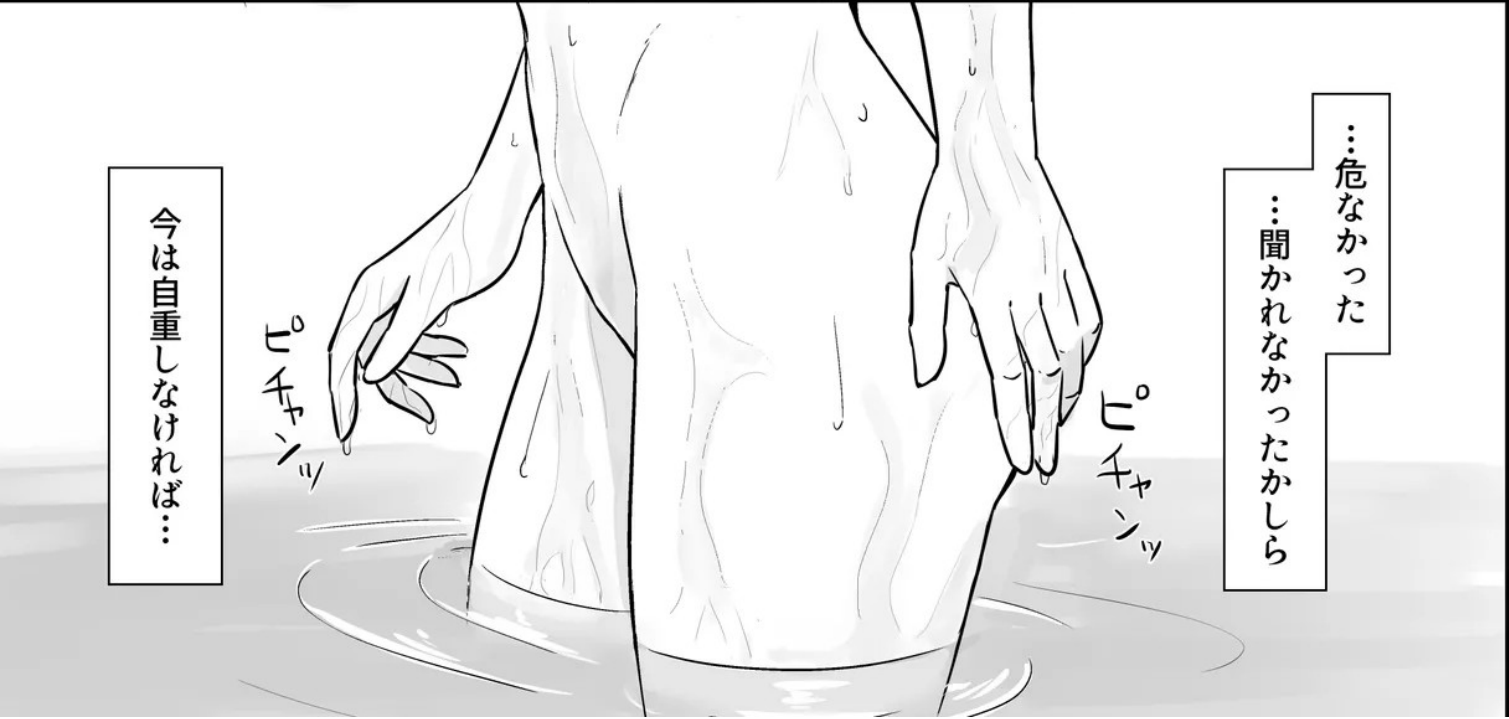
どうかしましたかー

南方の珍しい酒が
手に入りましたの

今日の夕餉は酒に合う料理を
つくってほしいのです

…お酒に合う料理

…わかりましたー



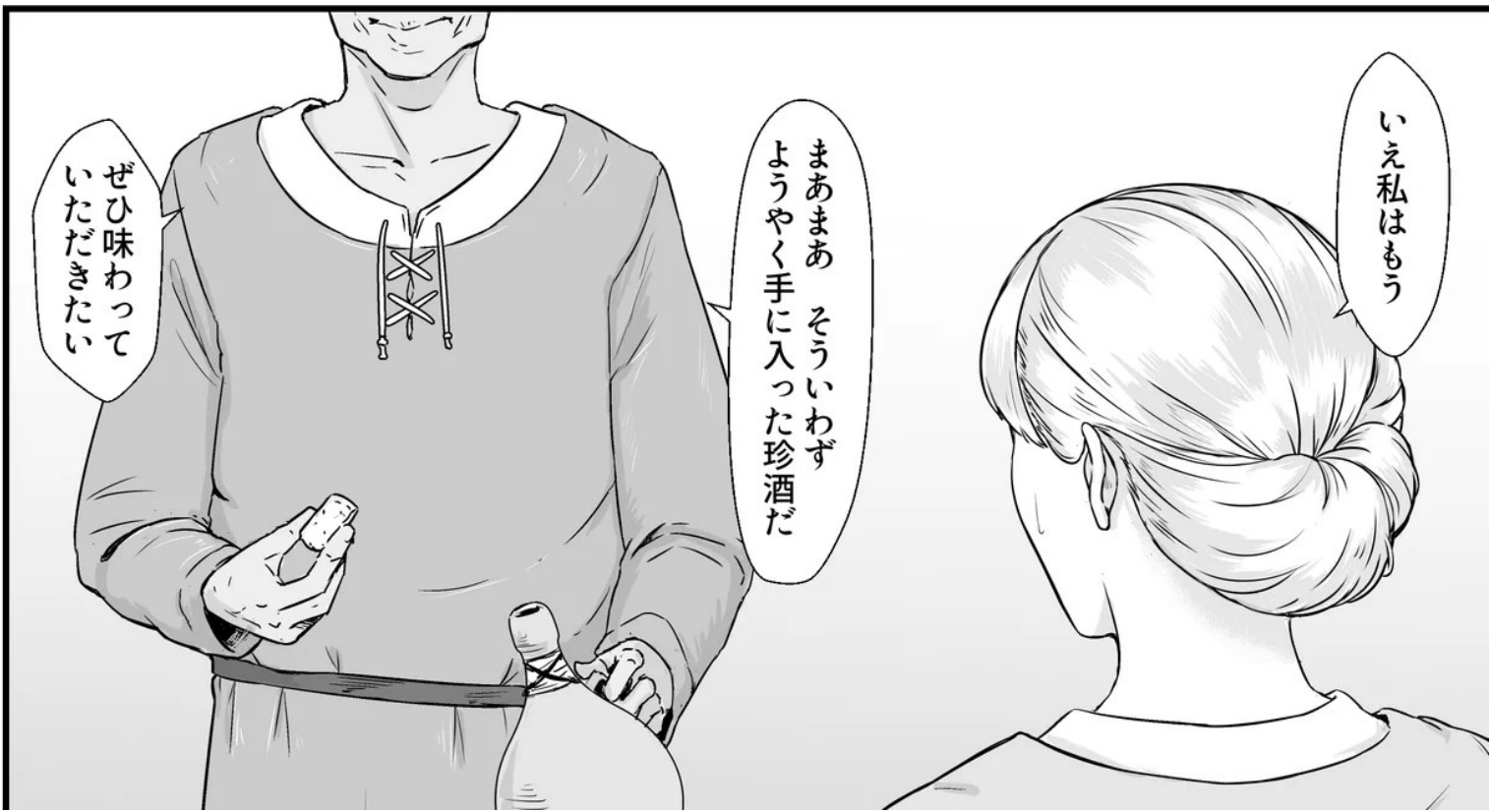
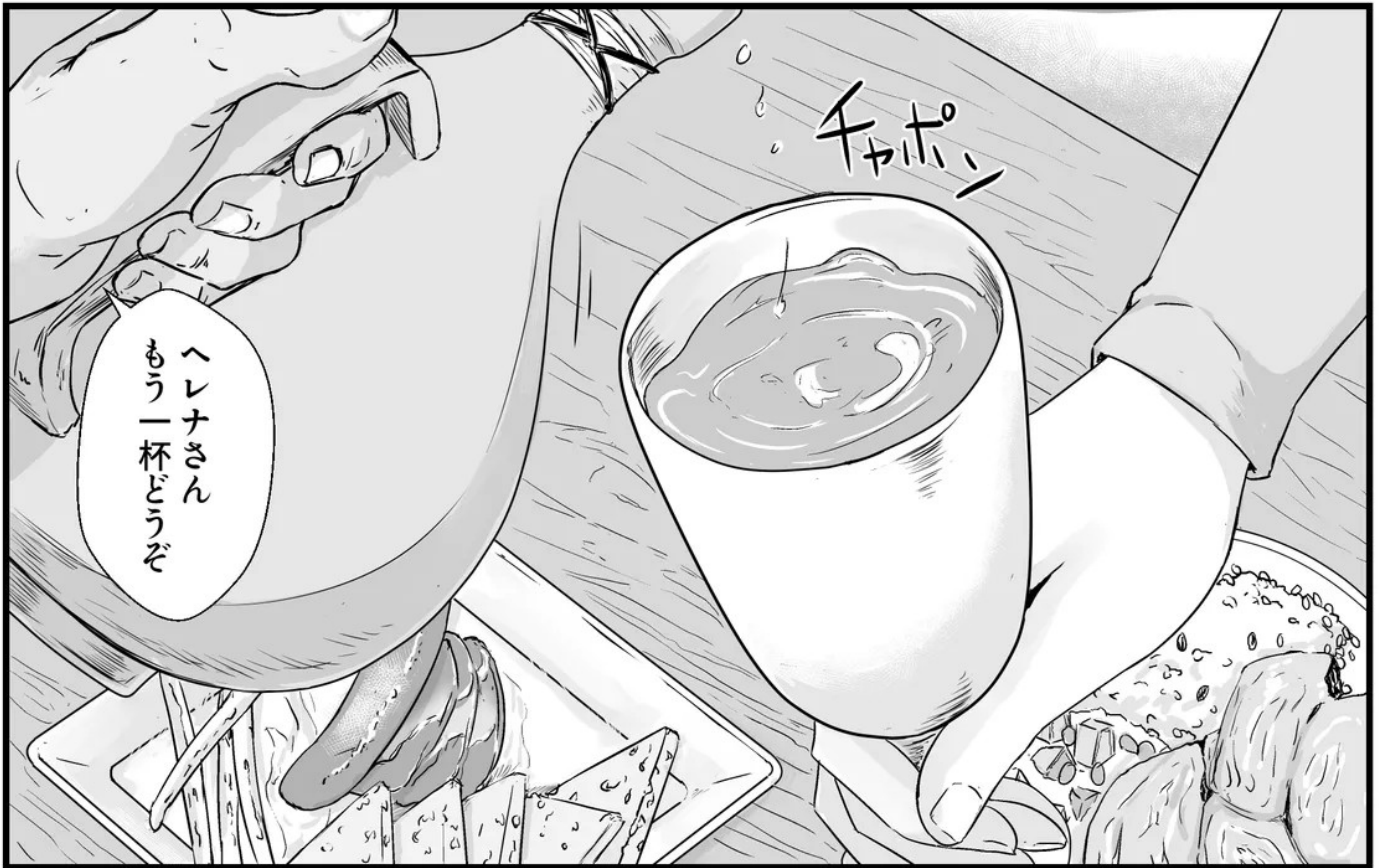
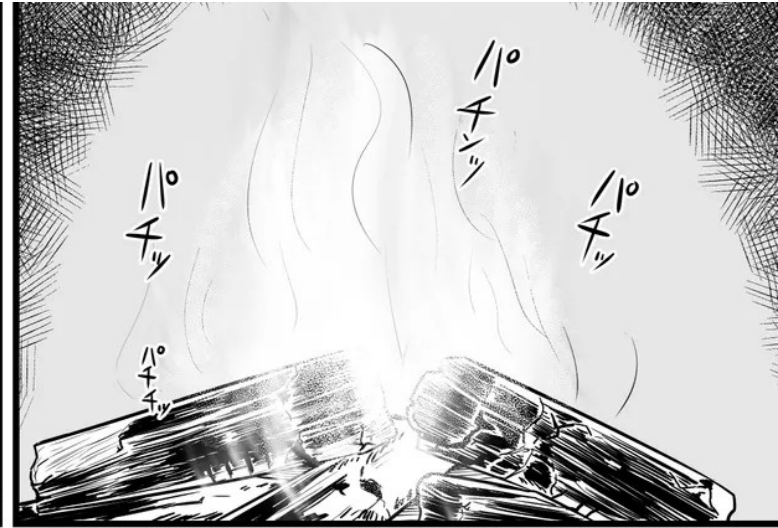
…危なかった

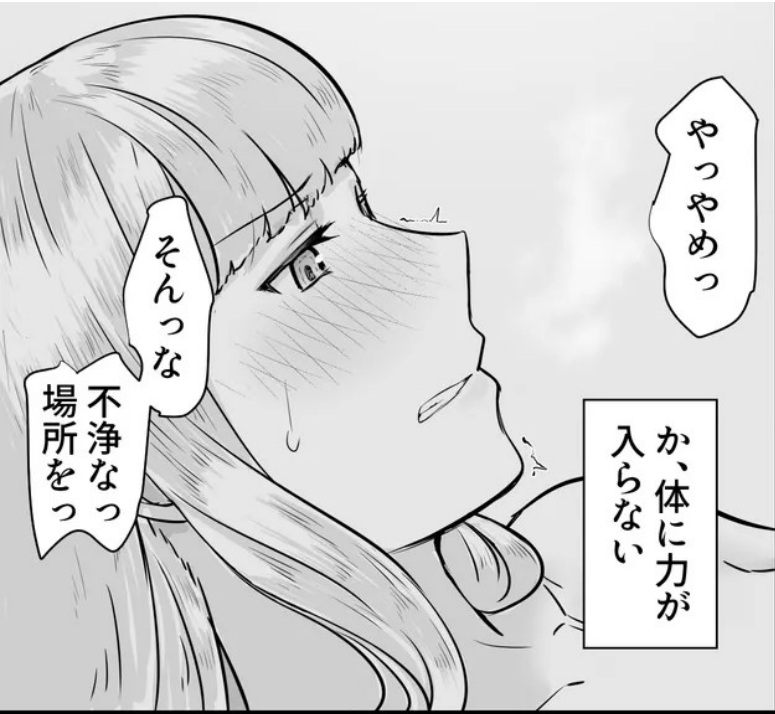
…聞かれなかったかしら

今は自重しなければ…

ピキーン

ピキーン





やっやめっ

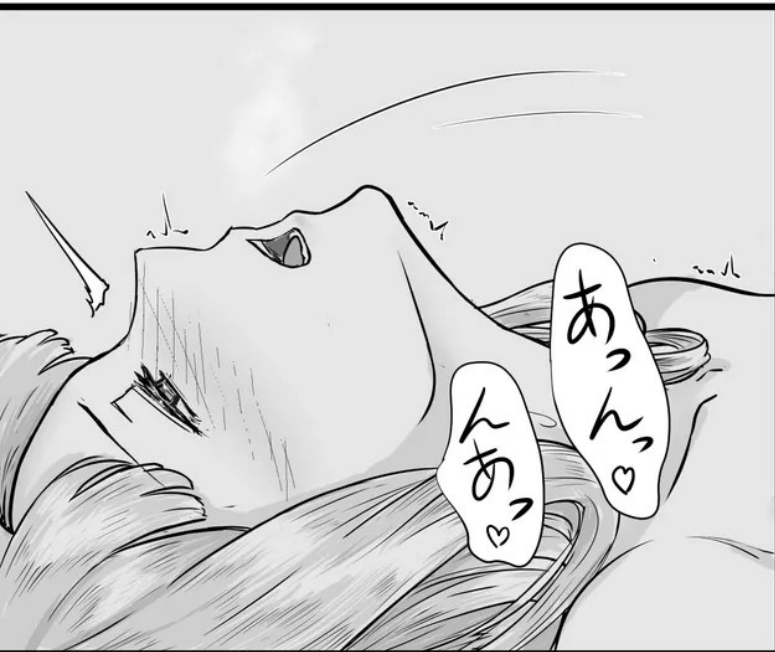
か、体に力が
入らない

そんな
不浄な
場所をっ



ク
チュッ

チュッ



あっんっ♡

んあっ♡



あ♡

じゅるるるる



なにっこれっ

かるくいった
ようじゃなキル

なんでっ

こんなっ

しっかり効いておる
ようで何よりじゃ



体がおかしい…

力がうまく
入らないだけ
じゃない…



肌を舌が
這いまわる
感覚が…

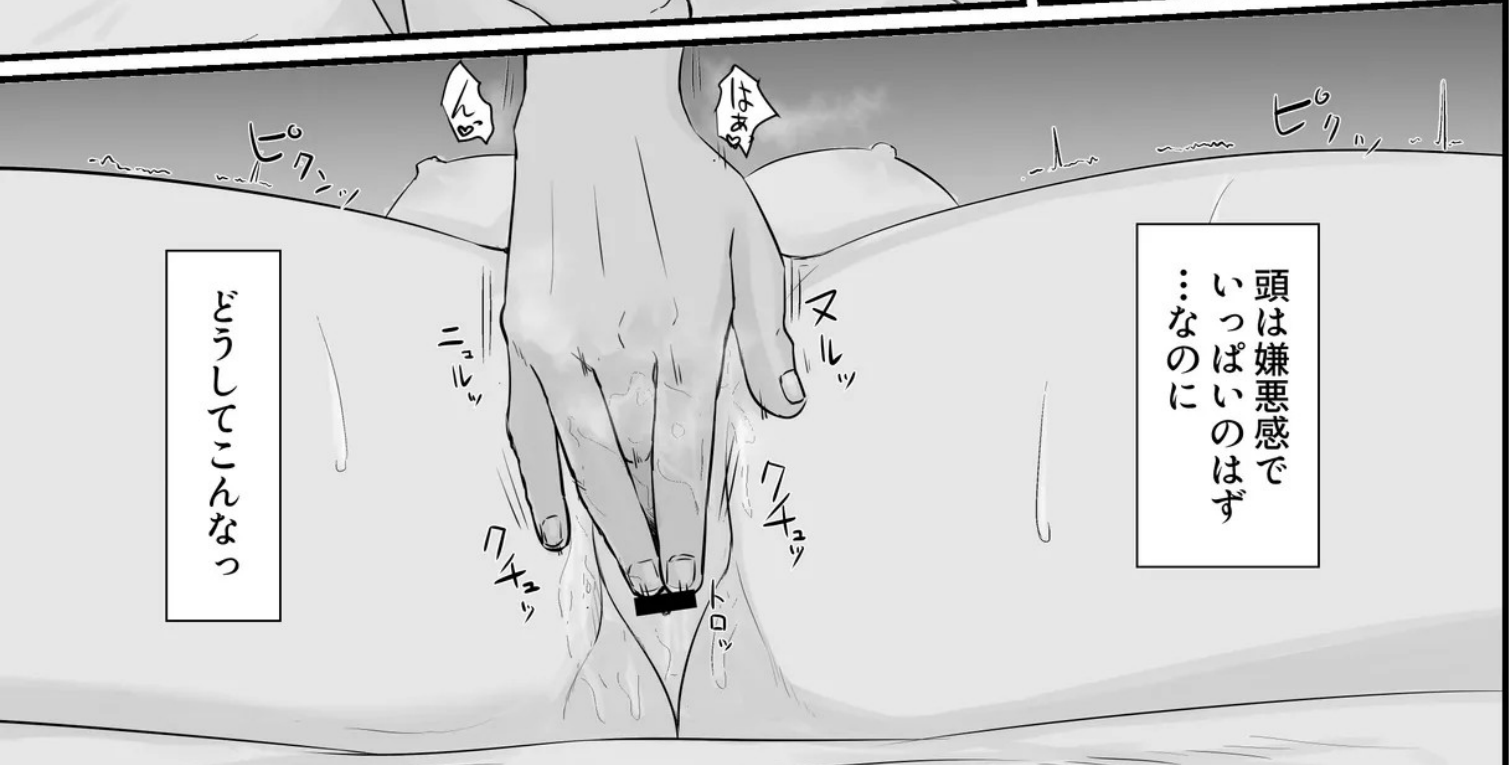
はつきりと
伝わってくる





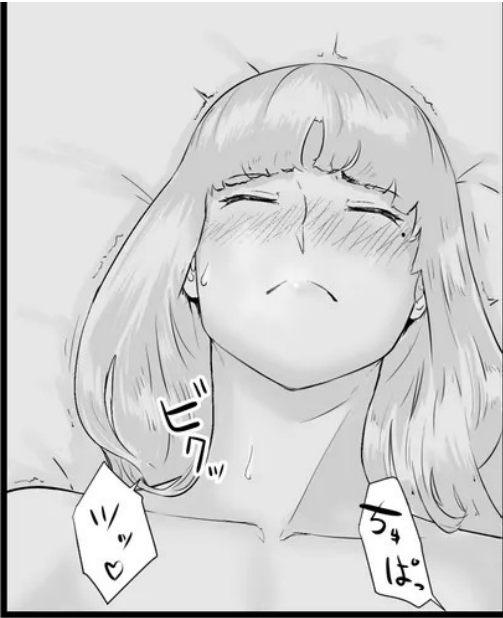
この老人の愛撫に

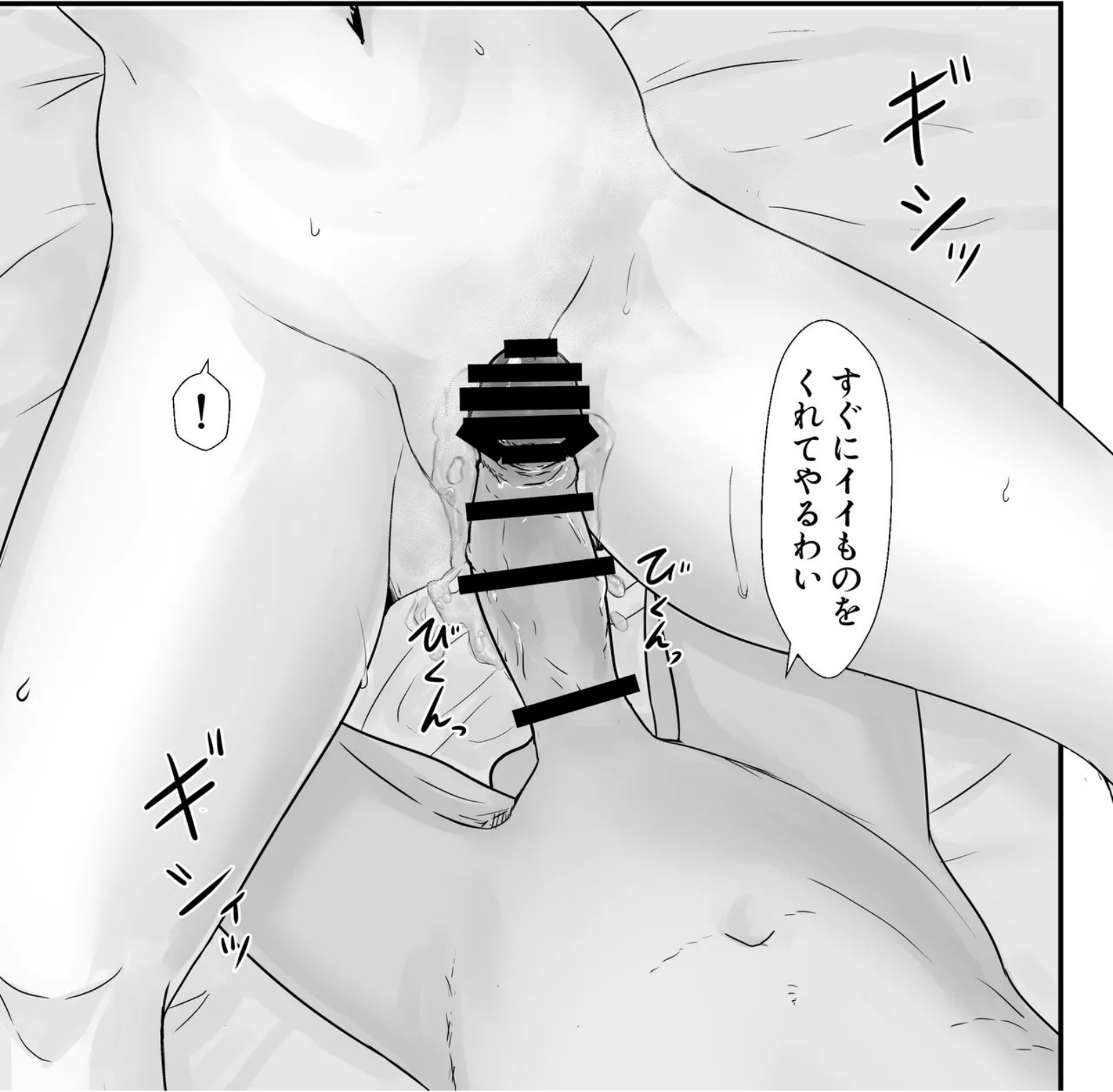
感じてしまっ
ていることが
信じられない…



頭は嫌悪感で
いっぱいのはず
…なのに

どうしてこんなっ







…大丈夫

こんな形で…
することになるとは
思っていなかったけど

ここに来た時から
覚悟はしていた…



なんて大きさ…

形も…
夫のものとは
まるで違う



…っ

…落ち着かないと

こんな卑劣な男
相手にこれ以上乱れる
わけにはいかな



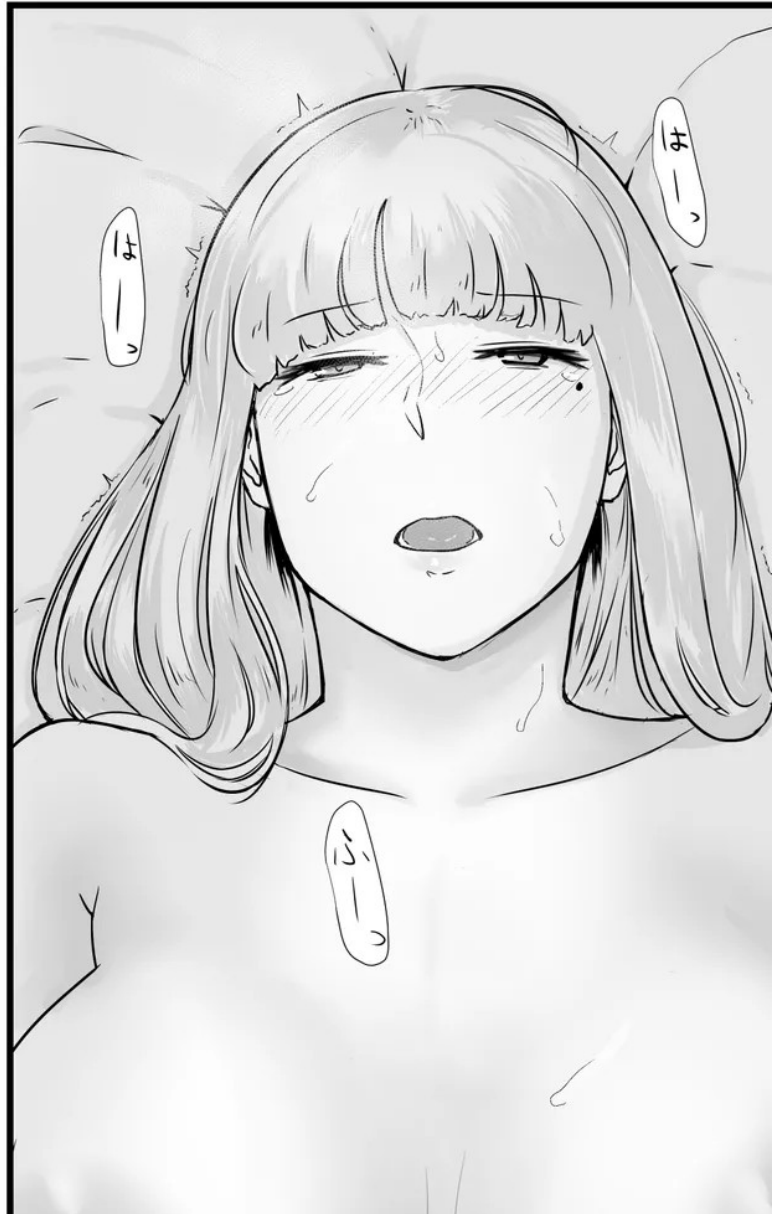


こんなこと
今まで一度もっ

…嘘
こんな簡単に…



これ…
奥まで届いてる



はー

はー

ふー



入れただけで
イってしまおうとは

しばらくは
慣らすつもりだったが
これなら必要ないの

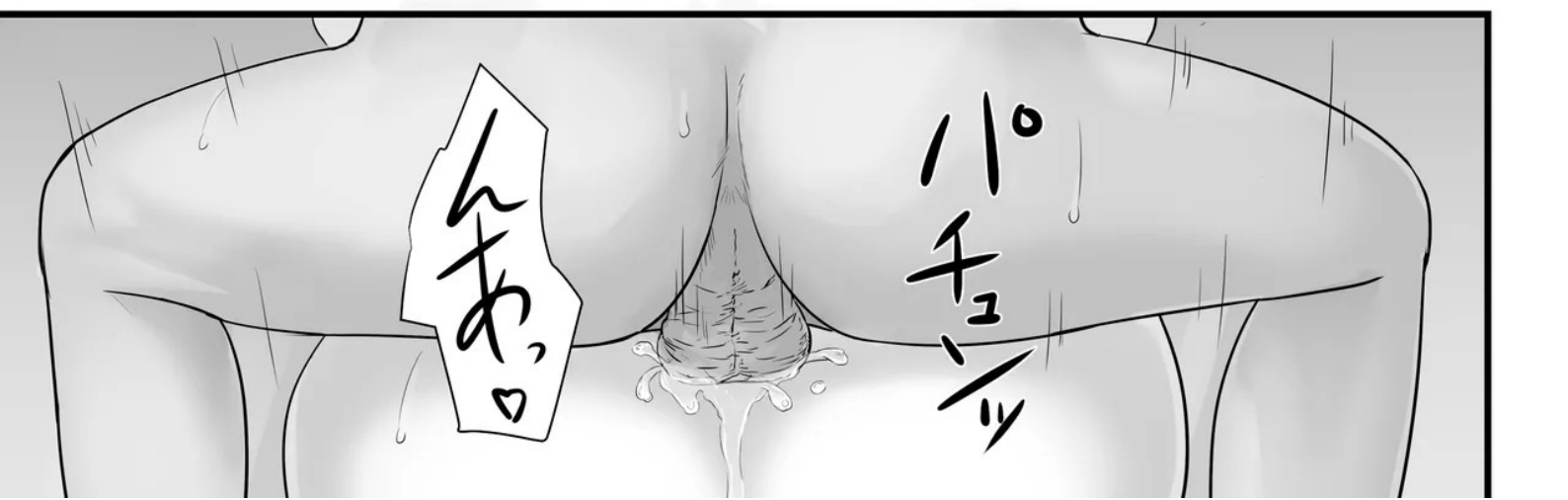
…まずい
今動かれたら
またっ



ググ

少し時間を
おいてっ

あっ♡
んっ♡
やっ♡
おっ♡
…ルルルル



ハ
チュ
ン
ッ

ん
あ
♡



まっ

え?
膾^な内^か?
膾^な内^か?

INDI



♡
♡



♡
♡

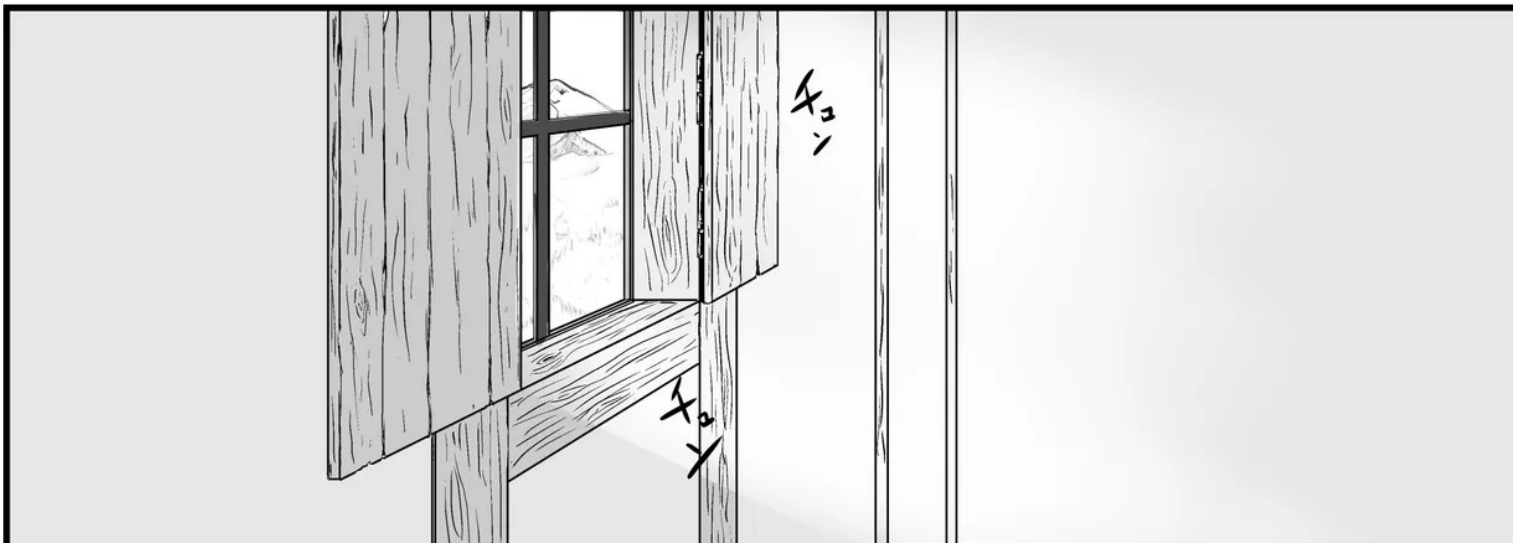
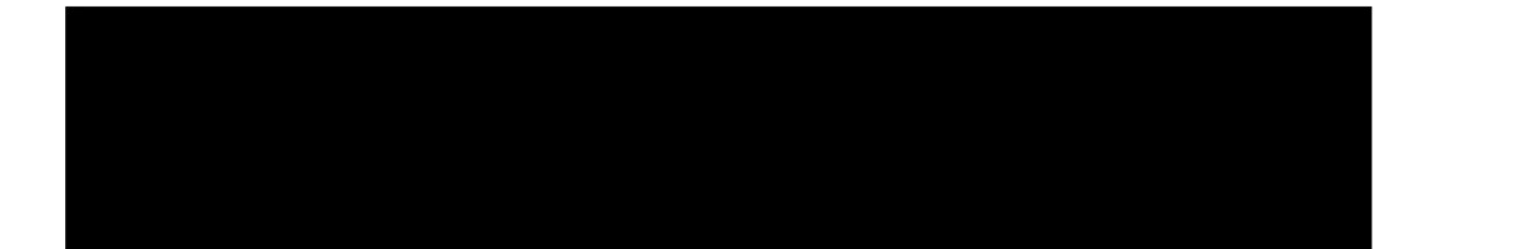


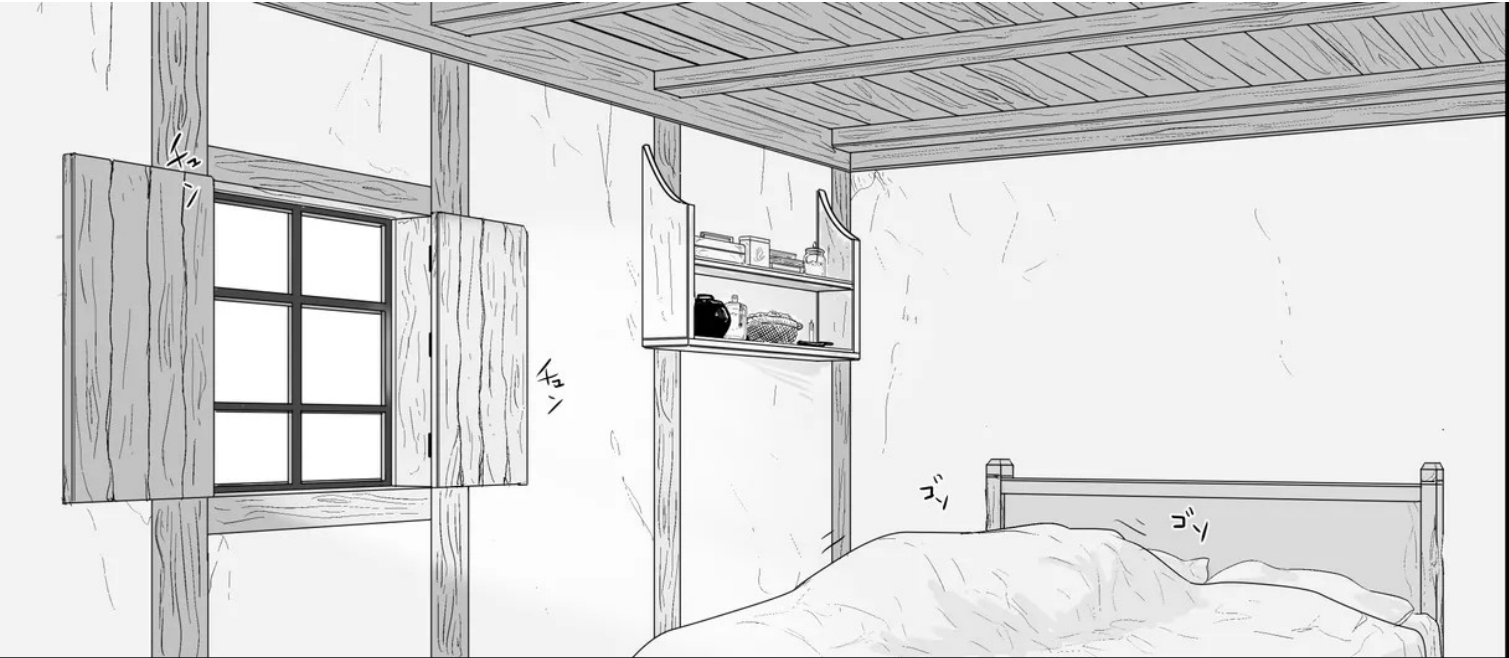
♡
♡





おお大量に出たの
イイ締め付け
じゃったぞ





朝起きた時に
隣に誰もいない
状況には

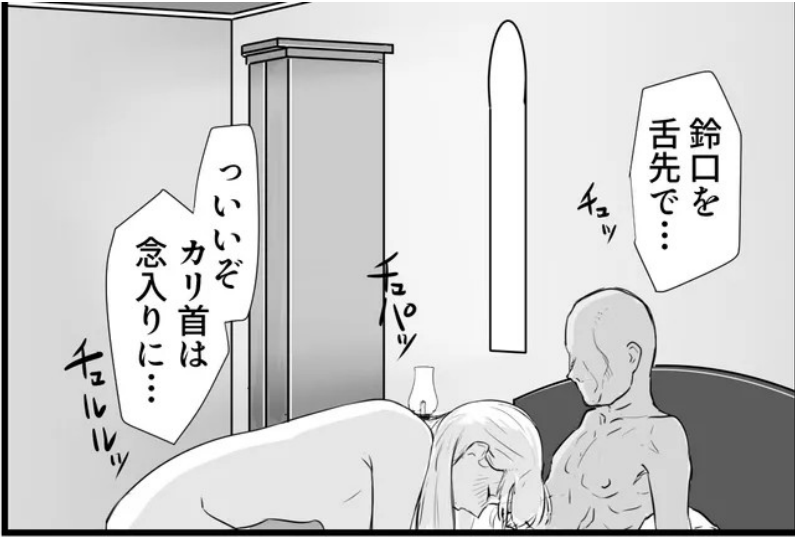


いつまでたっても
慣れないな



今頃どうしてるんだろう

…ヘレナさん



鈴口を
舌先で...

っいいぞ
カリ首は
念入りに...

チュッ
チュッ



はあ

んっ

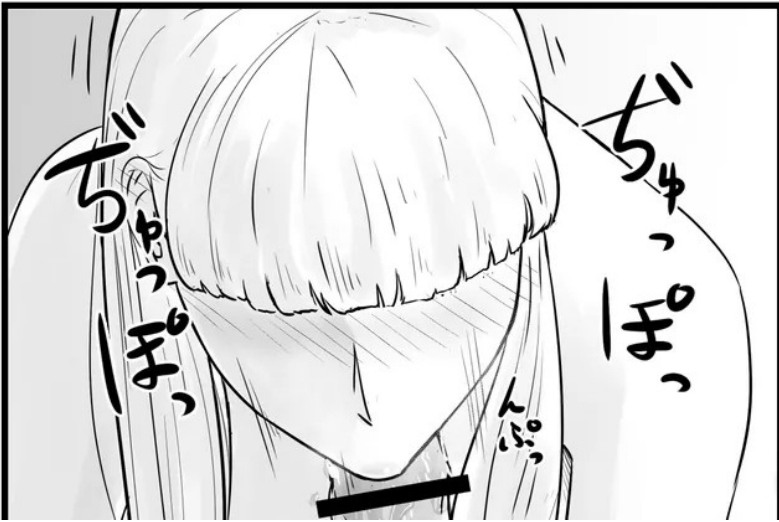
チュッ



やはり一日は
これがないと
はじまらないっ

おお
うまいぞっ

チュッ
チュッ
グチュッ



チュッ
チュッ
ハッ

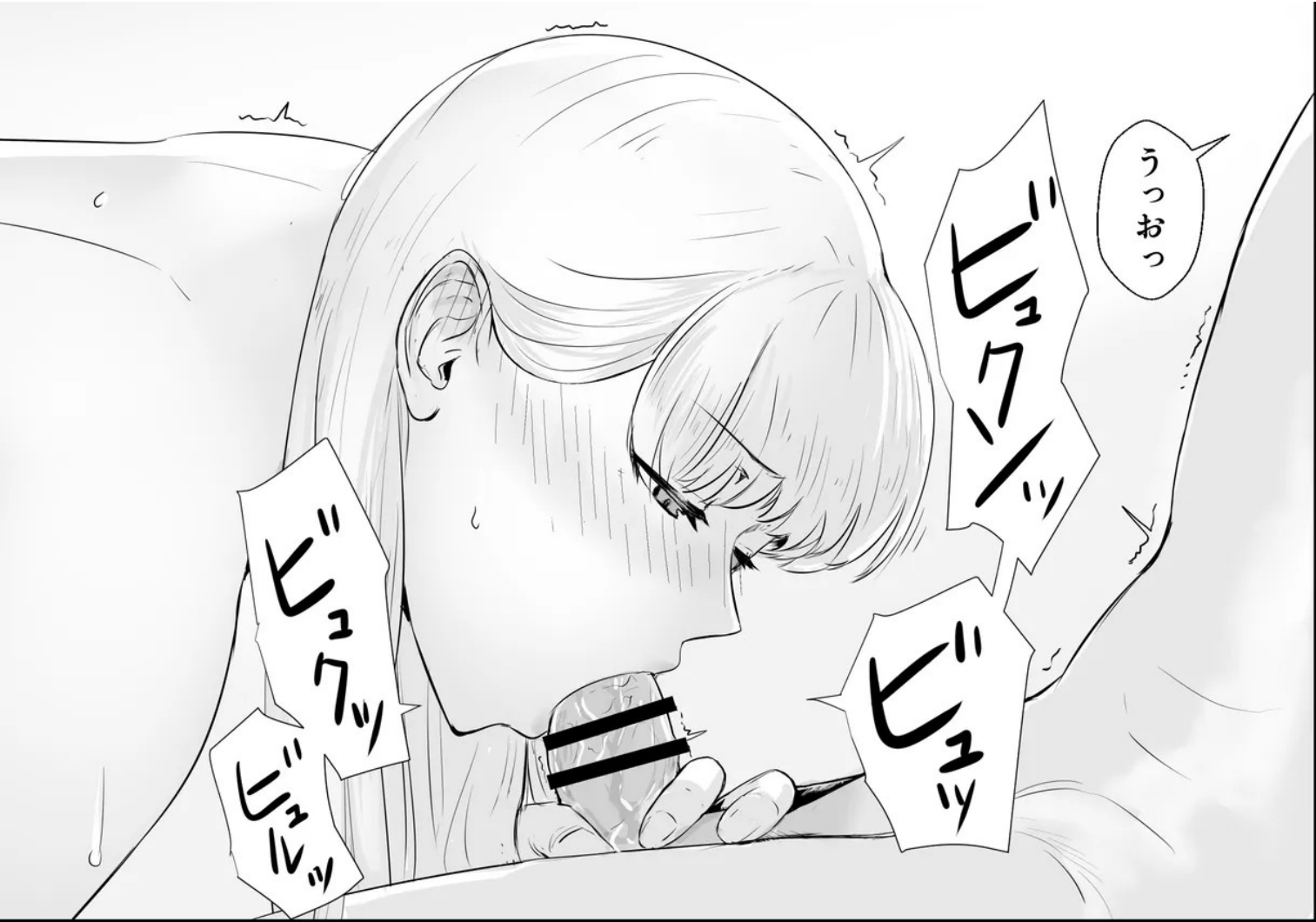
ハッ
ハッ



そろそろ出すぞっ
しっかりしごくんじゃっ
.....

チュッ
チュッ

ハッ
ハッ





あの夜から
すべてが変わった



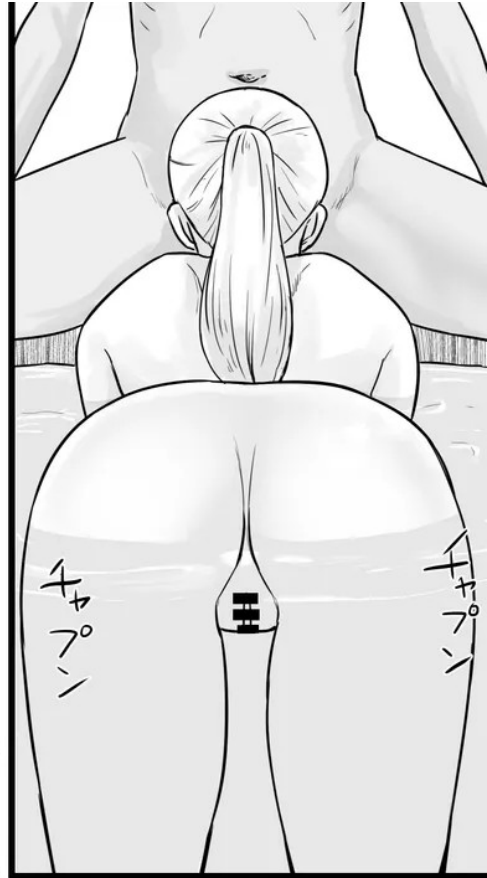
ラジャー
老人がその気になれば
場所は関係なかった

家事の最中は
もちろん





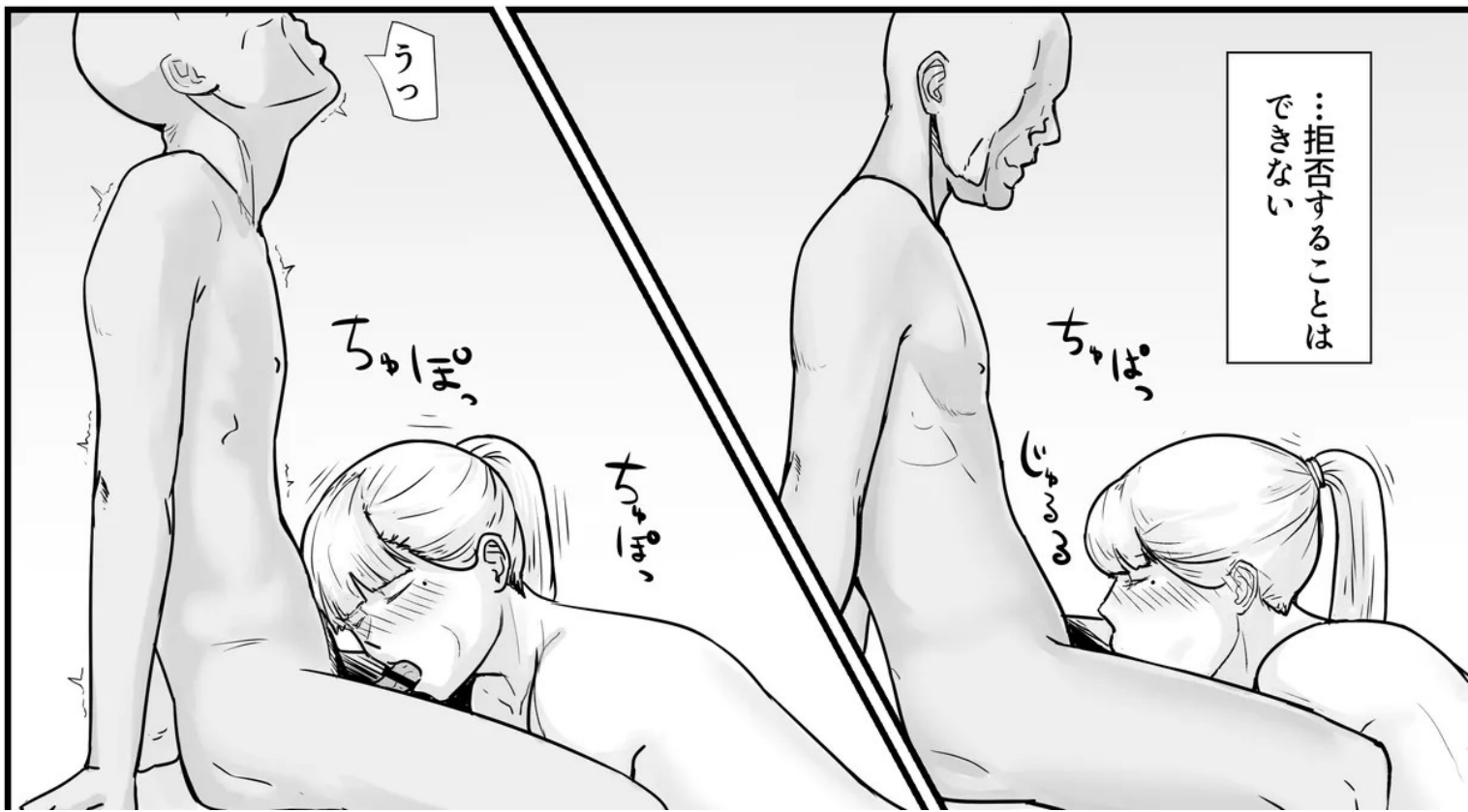
そして
湯あみの
時にまで



…驚くべきは
老人の異常な
性欲だろう

一日のうちにも
何度もいやらしい
行為を迫ってくる

ろ



…拒否することは
できない

うっ

ちやぽん

ちやぽん

ちやぽん

ちやぽん



ずいぶん
積極的じゃの

わしの逸物が
気に入ったかの？

……

……そんなわけない

なか
腔内に射精される
くらいなら

口で処理して
満足させたほうがいい



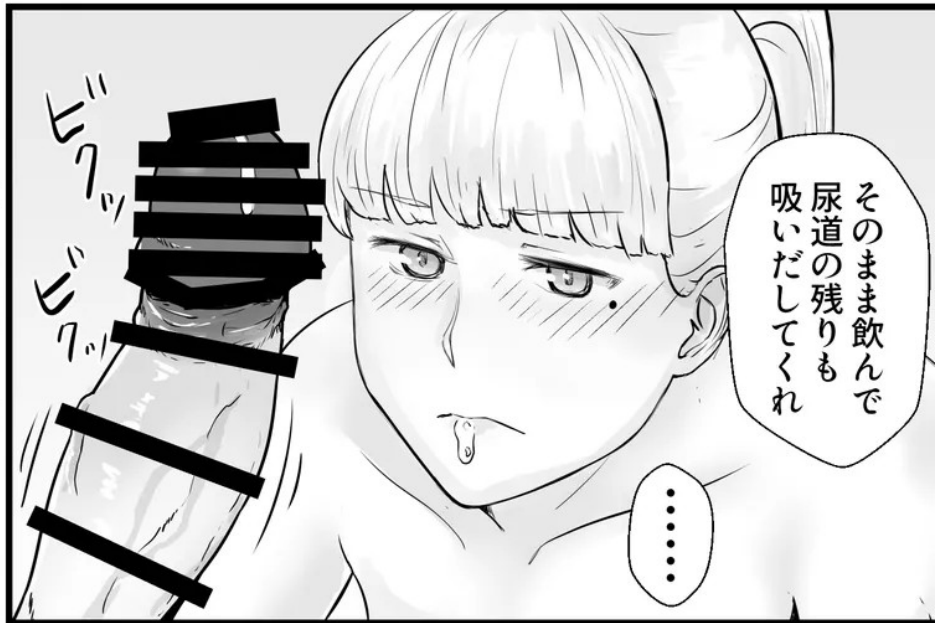
……何度見ても
信じられない
濃さと量ですね



……それだけだ



まだ勃ってるなんて



そのまま飲んで
尿道の残りも
吸いだしてくれ

……



本人は自覚が
ないようだが
体は雄のにおいに
期待しておるの

…やはり今夜も
しなければならぬ
ようです



よく似合っとするぞ

カママ

…っ

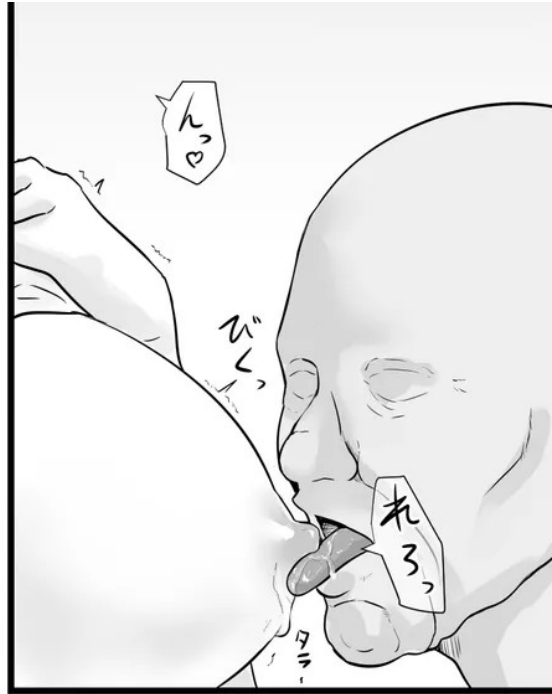
こんないやらしい下着を着ることになるとは…

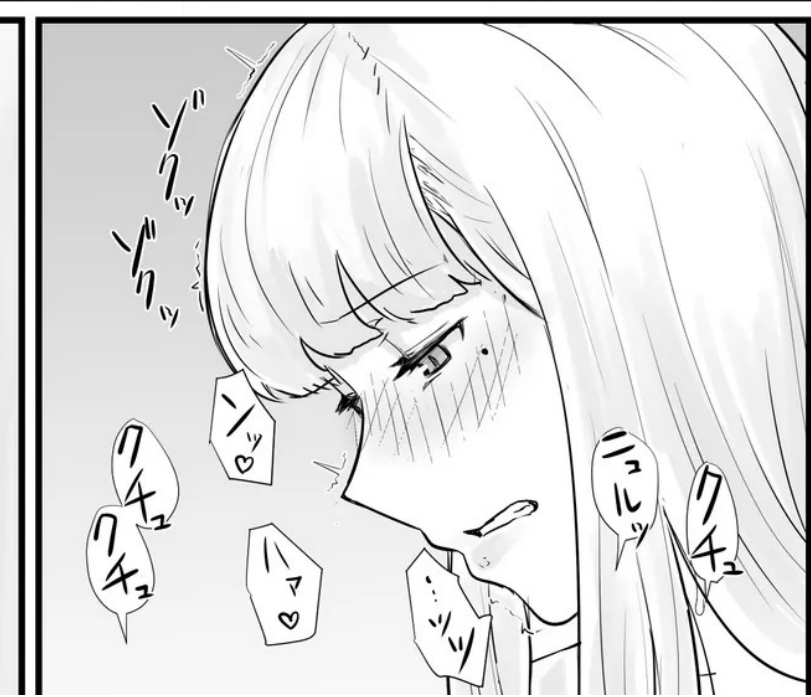
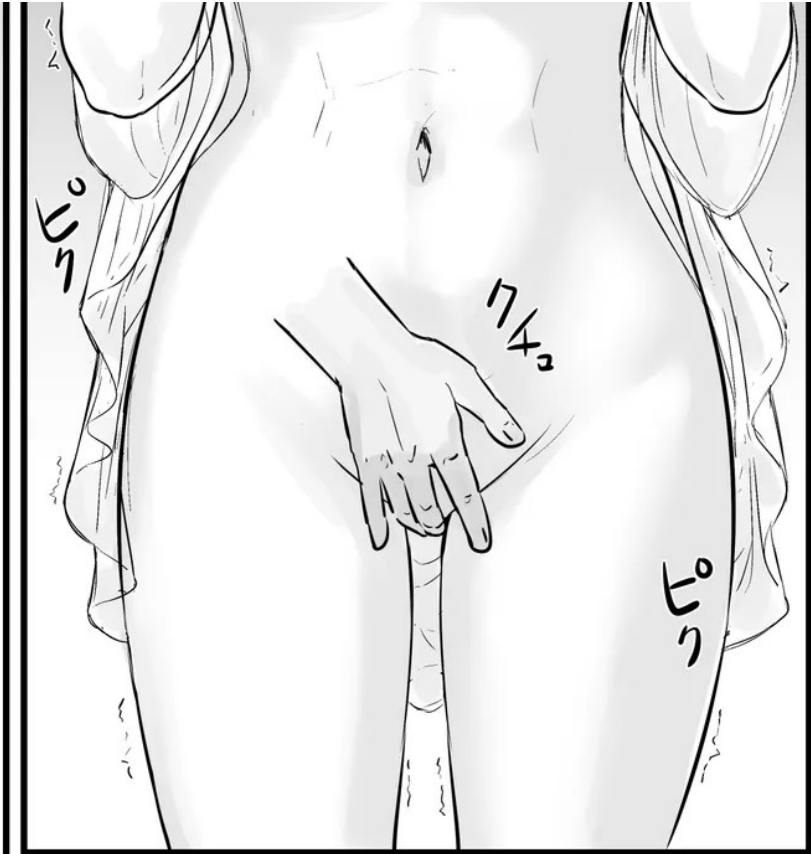
たくし上げて
よう見せてくれ

こんなに透けてたら
なんの意味も
ないでしょう…！

尻だけでなく
胸もたわわに
実っておるわ

どれ今日は
夫の代わりに
味見してやろう







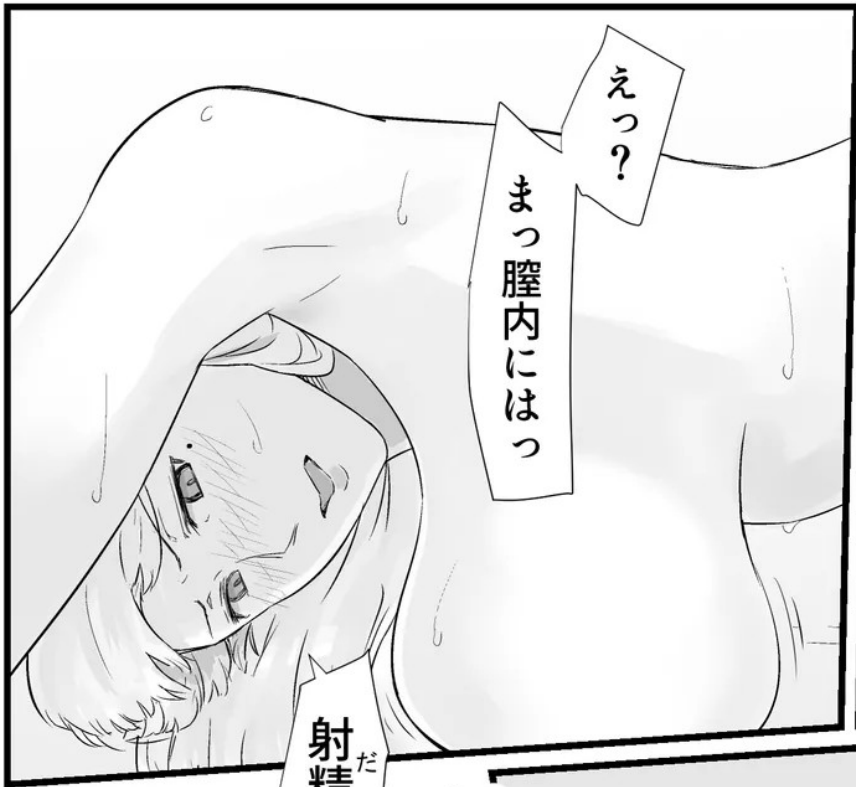
矮躯の老人には
似つかわしく
ないものがっ
奥まで...
届いて...るっ



ゆっくり腔内を
コスってっ

カリ首が...







チュポッ

んあ♡
ピクッ



ピクッ

ピョッ

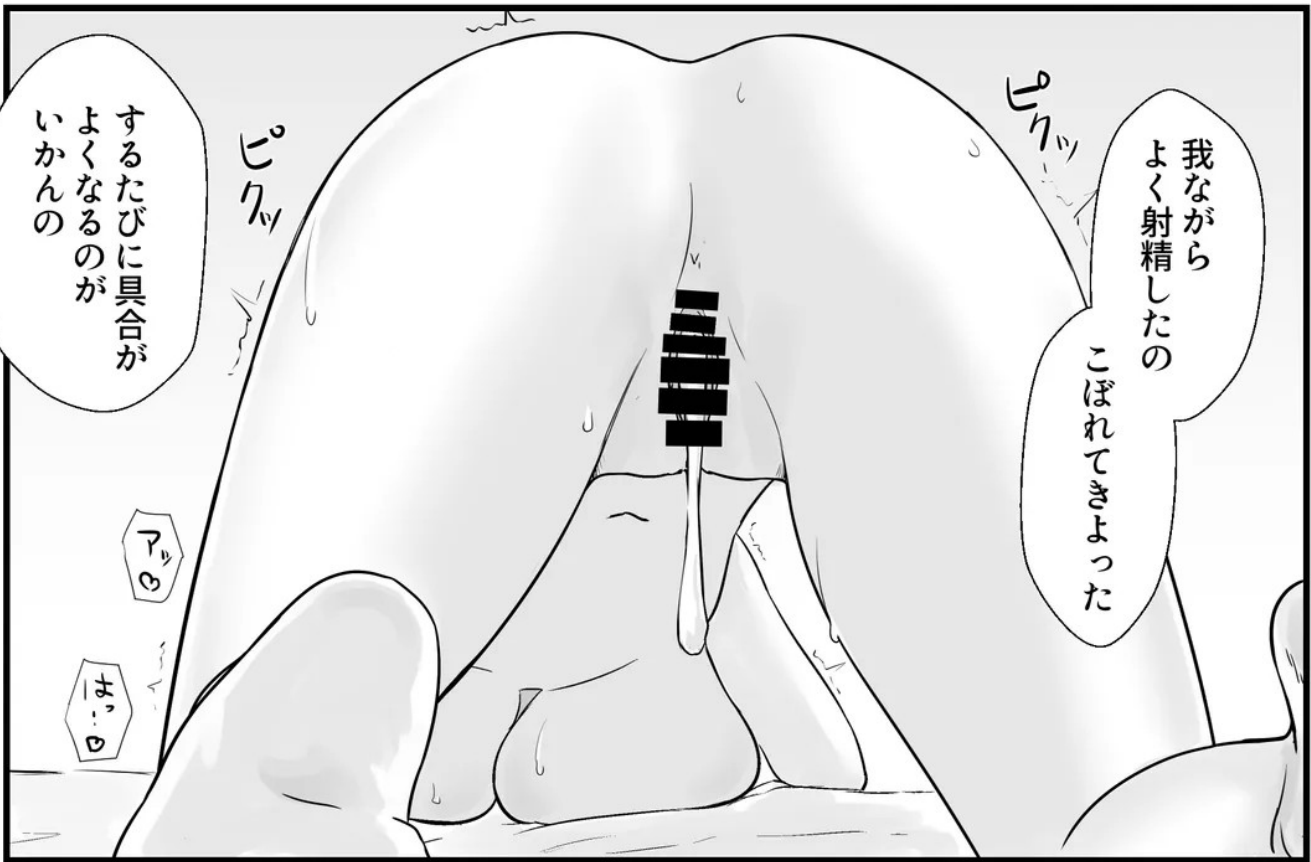
ピクッ



おっおっ
絞られるっ

ピョッ

ピョッ



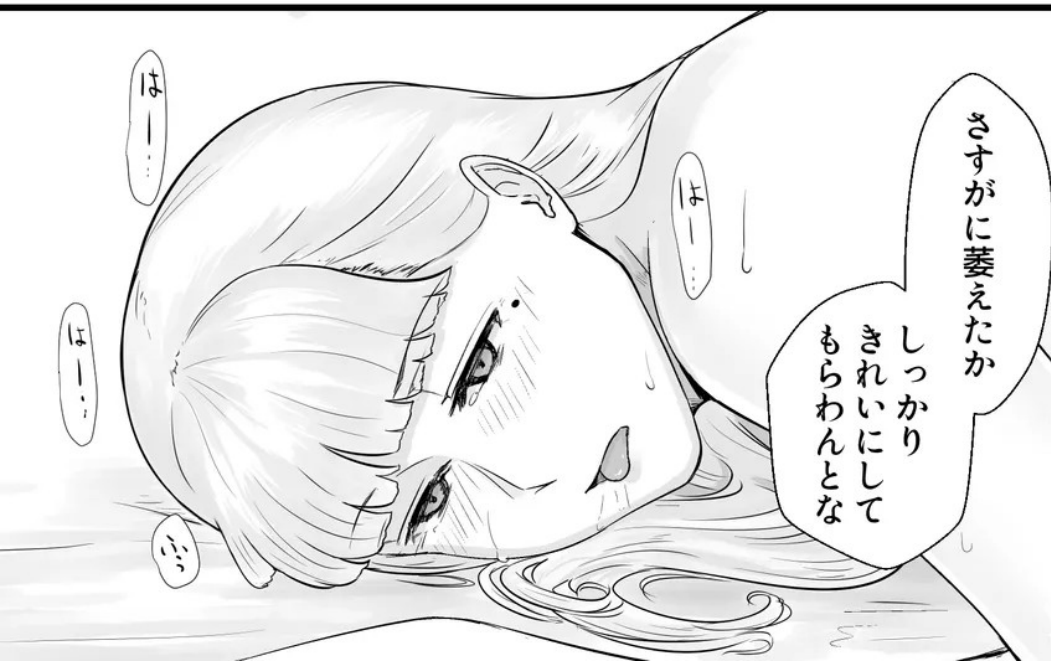
ピクッ

我ながらよく射精したの
こぼれてきよった

するたびに具合がよくなるのが
いかんの

ピョッ

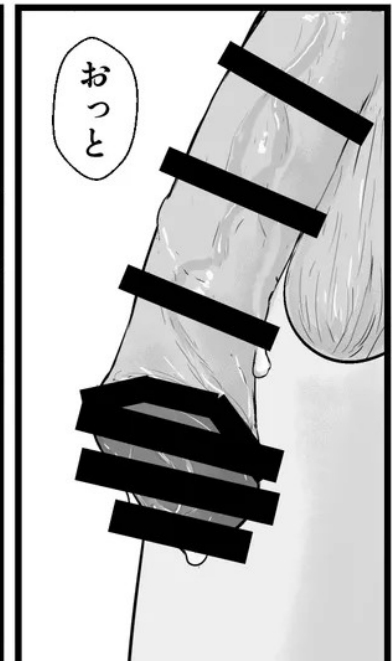
ピョッ



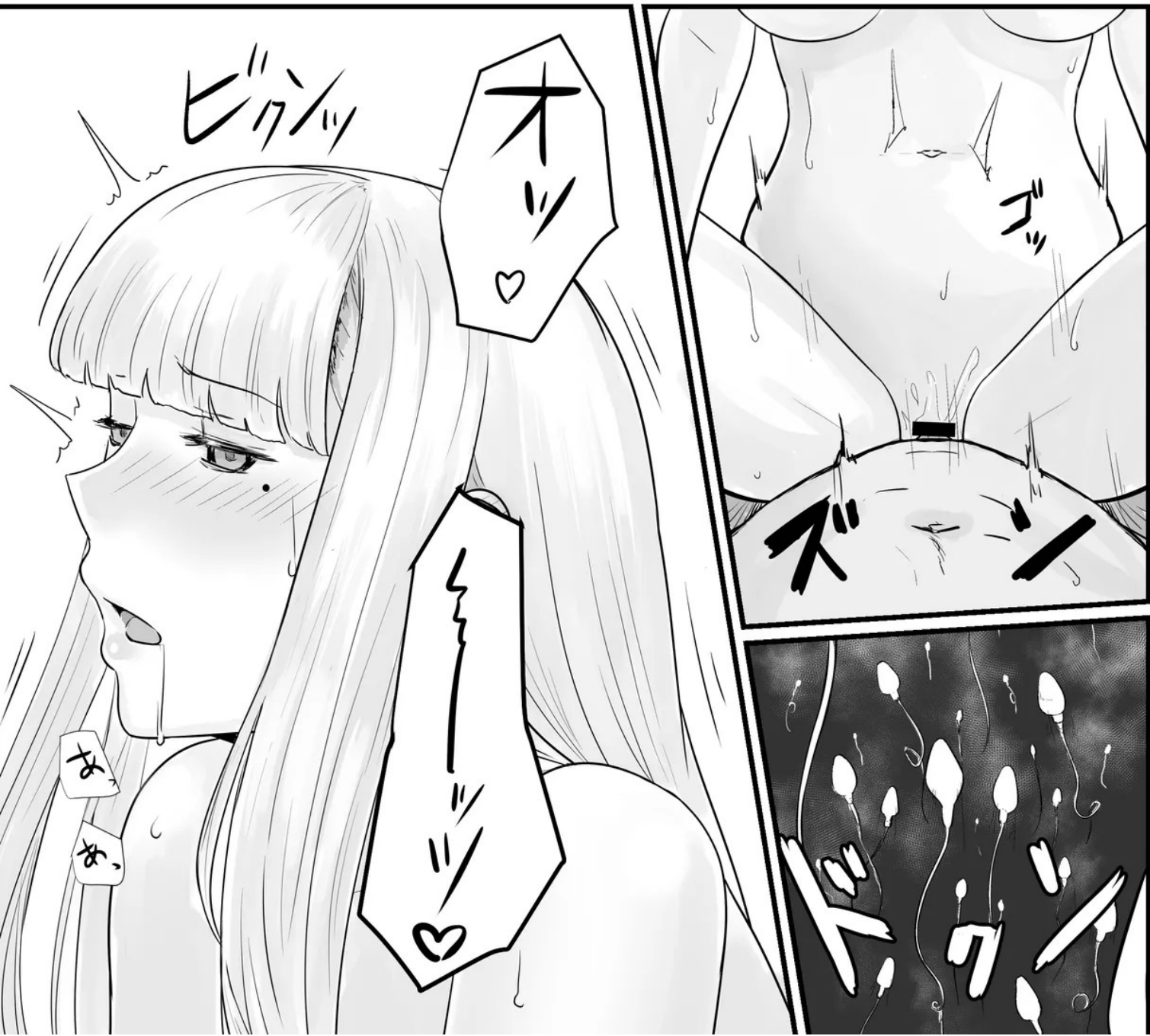
は...

は...

さすがに萎えたか
しっかりと
きれいに
して
もらわんとな



おっと





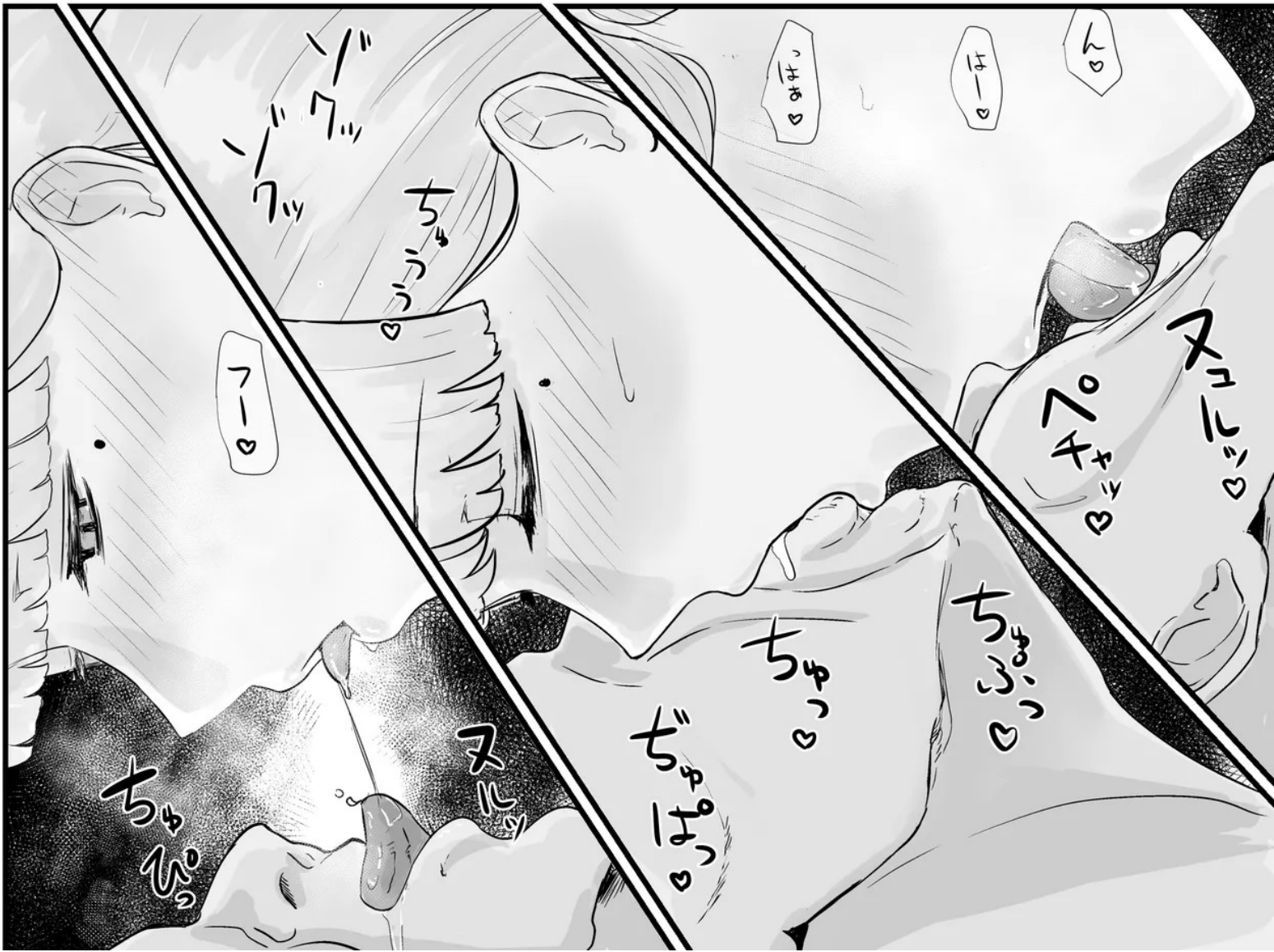




しかたない...はず

この雄の世話をやる
契約ですから...

どのみち...
この冬の間だけ



ちゅー

ちゅー

70
ちゅー

ちゅー

ちゅー

ちゅー

ちゅー

ちゅー

…ごめんなさい

すっかり陽が昇ってしまったのう

ハンスさん

玉袋までなめとつたら朝食の準備を頼むぞ

ふあ♡

冬の間だけだから

